

浜田の方言集

(浜田市教育委員会)

ア行

方言	注釈	出典
ああた	飽いた	C
あい	鮎	C
あいた	失敗した時の言葉、自責の言	L
あいたいづく	相対での話し合い	B
あいてににしろ	相手に転嫁する	H
あいま	合間	S
あいまこま	時々	B江津
あえたりもんだり	和えたり揉んだり	C
あおび	あわび	N
あか	漁船底に溜まった海水	C
あかいぬ	喰意地のはった者く罵語	C
あかのたにん	縁のない他人	Y
あかばち	恥に罵言がはいったもの	C
あかん	不可	K
あがー……のー	あんな事は……なる	I
あがーして	そうして	K
あがーな	あの様な	TKO
あがーな こがーな	あんな こんな	H
あがーなこと	あのような	E
あがーに	あんなに	E
あがあな	彼の様な	C
あがあこがあ	あのでこのて	M
あがあしんさい	あの様にしなさい	H
あがあなこがあな	あのような、このような	A
あがあなこと	あんな事	H
あがい	あんな	K
あがた	畦	S
あがたち	病気の回復	M
あがたつ	病気が全快する	B江津
あがなもの	あんなもの	N
あがりたて	上がり口	T
あがりと	上がり口	T
あがりと	家の内庭の座敷に上がる所	G
あきれる	飽く	N
あくたいもくたい	悪党もくとうく罵語	C
あくたれ	悪たれ」いたずら者	S
あくともくとう	悪党もくとうく罵語	C
あくどい	味の濃厚な事	Y
あけのひ	明日	GK
あけりゃ	明ければ	T
あけりゃー	明ければ	T
あげく	結局、結果	L
あご	飛魚	TK
あさーどり	あきぐみ、あさどり	T
あさいだろー	浅かるう	T
あさいだろー	浅かるう	T
あさじ	朝の法座	C
あさっぺ	海藻、子供吹き膨らまし遊ぶ	TK
あさどーり	あきぐみ、あさどり	T
あさま	朝方、朝	YT
あさまとうから	朝早くから	H

ア行

方言	注釈	出典
あさまやく	朝飯前の仕事	B
あし	牛馬など左へ行く時く掛声	K江戸
あしかんぎよ	片足跳び、けんけん	T
あしつぎ	踏み台	T
あしのこをはく	仲介料をとる	B江津
あすばんこうに	遊ばずに	C
あすぶ	遊ぶく母音	TK
あすぶ	遊ぶ	YEN
あずがきれん	はっきり物を言わない	K
あずりこずり	やつのことで	A
あずる	手こずる	A
あずる	難儀する、苦しむ	MS
あずる	もがく	KTS
あずる	苦勞する	M
あそこ	彼所	K
あそばーで	遊ばないで	T
あそばこーで	遊ばないで	T
あそばんで	遊ばないで	T
あた	仇の転	M
あたこーもない	思いがけない	B江津
あたまのさら	河童の頭にいただく皿	C
あたまめっこ	頭ごなし	B江津
あたん	仕返し、報復	SM
あだ	仇の意	M
あだける	ふざける	C
あだな	渾名」綽名	K
あちい	熱い	E
あちゃー	驚きの言葉、吃驚した	L
あつけのう	ものたりない	C
あっこ	あそこ	N
あっこに	あそこに	S
あつたなもの	新しい物／完全な物	C
あっち	あちら	TN
あっちゃこっちゃ	あべこべ	K
あっぱい、あぱい	きれいな	E
あっぱつぱー	ズン胴の服／風通しのよい人	K
あっぺい	美しい	G
あっぺえ	美しいく幼児語	C
あっぼ	美しいく幼児語	M
あっぼ、あぼ	着物	E
あてこすり	当て推量	K
あと	水口、田の水を落す処	T
あとざに	急に	B江津
あとだんに	俄かに	M
あなんご	穴	CNS
あにー	兄	I
あねー	姉の事	I
あねーな	あの様な	O
あねえ	下女	Y
あのし	あの方	G
あの一	呼び掛けの語	S

ア行

方言	注釈	出典
あばい	立派なく幼児語	T
あばかん	いそがしく処理不能	L
あばかん	堪えられない、たまらない	K
あばめ	皮膚にできるあぶりあざ	S
あばれる	乱暴する	N
あぶーとる	叱って懲らす	B
あぶらむし	稲につく害虫	K
あぶらむし	ごきぶり	L
あぶをとる	責める	C
あべる	あびる』行水、水泳をする、	S
あべる	浴す、浴びる	TNS
あべる	泳ぐ	YE
あべる	水泳、水を浴びる	C
あぼだら	阿呆、ばかばかしいく罵語	L
あぼ、あぼー、あっぱ	着物く幼児語	O
あぼちゃ	かぼちゃ	G
あまだ	物置二階	T
あまんじやく	天の邪鬼』人に対するもの	G
あまんじやく	ひとに反対したがる人	K
あめ	あみ蝦	C
あめ	大豆をにた汁	C
あらー「何々であらー	何々です	E
あらかた	粗方アラカタ、おおよそ	S
あらびる	騒ぐ、乱暴する	S
あらびる	暴れる	K
あらましい	粗末、ぞんざい、大方	S
あらましい	乱暴な	K
ありご	蟻	ETN
ありつけばー	嫁についていく女	Y
ありつけばあ	嫁についてゆく女	Y
ありやーこりやー	あれやこれや	A
ありやーせんわーな	有ることは有りませんよ	K
ありやーのー	呼び掛けの言葉	H
ありやあもう	あれはねえ	N
ありやのー	あれはーーく呼び掛け語	S
ありよー こりよー	あれや これや	H
ありんご、ありご	蟻	CL
あわこ	雌魚の卵巣	C
あんき	安気に暮す』安危	C
あんけつーこ	のんきに構える	B
あんけつこいて	安閑として	C
あんけつこく	簡単に構えている	K
あんころ	餡ころ餅	C
あんころもち	餅にあんをまぶした物	Y
あんじゅさん	あま、尼さん	K
あんじょー	具合よく	K
あんじょー	兄さん	TB
あんじょう	若者、青年	YE
あんじょう	兄さん、兄貴	YM
あんじょう	先輩	N
あんず	杏』アンズを濁らず言う	CEY
あんずがきれん	決心がつかん	B江津
あんた	あなた、相手を呼ぶ	Y
あんた	貴方、あなたく母音脱落	ENT
あんとー	あんな	S
あんとうこんどう	あのようなこのような	A
あんとうに	あの通り	C

ア行

方言	注釈	出典
あんどうのこと	あの様な事	H
あんなあ	あのなあ、人に話しかける時	L
あんなし	あのひと、しー=衆	I
あんに	あそこに	SN
あんばい	ぐわい	H
あんまり	余りく音韻添加	TN
あんもう	餅の幼児語	C
あんもち	大福餅	Y
あんやん	兄さん、下男	Y
いー	よい	T
いー	労働交換	T
いー	他人を侮辱した語、句の後付	CQ
いーい	あ汚いと云う様な時の語	C
いーなる	言いなさる	S
いーや、いや	否定の返辞	O
いい	手間がえ	S
いい	よい	K
いいそ	ゆいそ、結い草	S
いいだ	結いダ』桶屋	SK
いいや	否定の返辞	T
いうけえやれん	其の様に言うからやれない	H
いうたつた	言うてやった	C
いお	さかな	YE
いお	魚	SN
いかー	大きい	B
いかあ	大きい	C
いかい	大きい	VNE
いかい	大い	K
いかい	大きい	THS
いかき	洗いに使う籠(重宝記)	I
いかざつた	行かなかつた	T
いかだつた	行かなかつた	T
いかん	行かない/良くない事	TK
いかんかつた	行かなかつた	TH
いかんだつた	行かなかつた	T
いがく	湯掻ユガク』ゆでる	S
いがむ	歪む』まがる	SN
いがる	叫ぶ、大声を挙げる	OK
いがる	大声で激しく泣く事	L
いがる	苦しみ叫ぶ、叫ぶ	TY
いがる	大きな声で叫ぶ	M
いがる	泣き叫ぶ、怒気で大声を出す	S
いがる	叫ぶ	ETN
いがわ	井戸	L
いきくさる	向こうの方へ行った	I
いきしな	行き掛け	S
いきしなに	行きがけに	Y
いきずむ	きぼる、力む	S
いきつく	死ぬ	T
いきましたーな	行きましたですよ	K
いきやーするが	行くけれども	T
いきやーせん	行かない	T
いきやがる	行く	E
いきやけ	雪焼け』しもやけ	S
いきる	さわぐ	M
いきんさい	いきなさい	E
いぐら	土籠モグラ	YE

ア行

方言	注釈	出典
いけすかん	性分に合わず嫌い	K
いけず	いたずら、好ましくない	SL
いけず	腕白者、悪戯する	TL
いけま	生け簀の間、漁船の生簀	C
いける	埋める	TA
いけん	いけない	T
いけん、しちやいけん	しては—いけない	S
いけんぞ	いけないよ	T
いけんで	いけないよ	T
いげ・いぎ・えぎ	蜘蛛の巣	T
いげに	残念、くやしい	S
いげに、げに	実は(前言を打消して)	T
いこー	行こう	T
いごーかごー	どうにかこうにか	S
いごく	動く	ET
いごく	動く	YAN
いごずれ	後妻	T
いさぶる	揺さぶるユサブル」うごかす	MS
いじやしい	忙しい	G
いじる	酷使	C
いじる	意地悪をする	M
いじろうしい	多忙な	C
いじろぐ	身動きする	I
いすぐ	洗いすすぐ	C
いすぶ	結ぶ	T
いずい	大層、甚ハナハだ	T
いたー	痛い時の言葉、痛い(悲鳴)	L
いたーどり	いたどりの茎、虎杖いたどり	T
いたしー	痛い時の言葉、苦しい	L
いたしい	身体が悪いことを示す	T
いたしい	いたいたしい、成りがたい	I
いたしい	難儀な、むずかしい	IEH
いたしい	苦しい、難儀な、難しい	TN
いたしい	むづかしい、難儀な、困難	ASC
いたしひ	不自由な事	K江戸
いたまごい	暇乞いく母音	T
いたまごいをする	長の別れの挨拶	Y
いたむ	負腐する	T
いたむ	くさる、悪くなる	S
いためる	虐める、そこなう	T
いちのきだら	鼠蹊部、下腹部の足に接す部	T
いちんち	一日、いちにち	T
いっけ	親類	TS
いっこく	頑固	A
いっこん	一尾(魚の数)	T
いっそ	少しも	TE
いっそ	全く、まるで	K
いったーな	言いました	E
いった(行きた	行った	T
いったかや	行かれたですか	K
いったけーて	いったって	T
いっち	一番、最も	TS
いっちょーろーそく	一張羅の着物	T
いってかえります	往って帰すべき所へかえる	V
いってかえります	行って来ますの事<挨拶	K
いっぺんご	片足跳び	T
いつあーいらん	常に	T

ア行

方言	注釈	出典
いつあーいらん	時間にけじめのない	B江津
いつあいらん	いつも	S
いついき	何時も	KSM
いついき	いつでも	L
いついき	常に	T
いつけ	親類	N
いつけんこんご	片足跳び	T
いづい	偉い	C
いで	用水路、井堰	T
いとしげな	可哀想な	M
いとはん	お嬢さん、いとさん」の転換	K
いとまごえ	しばらく会えない	K
いとんどり	綾とり	B
いど	お尻、臀部	YT
いど	おいど」尻	SNH
いどの	湯殿」風呂場	S
いな	鯉、雅魚	T
いなおり	そのまま	N
いなげ	おかしい	N
いなげ	何んとなく、どうやら	T
いなげな	気にいらぬ、いやな	I
いなげな	変な、悪い	T
いなげな	変なこと、おかしい	MA
いなげな	怪しげな	C
いなげな	いやらしい、尋常でない	S
いなげなやつ	変な奴、あやしい男	K
いなす	帰す	S
いなびかり	稲妻イナズマ	K
いなれる	お帰りになる	T
いなんにやー	往いなねばく助詞との連絡	T
いにさけ	帰れ	N
いにしな	帰路	KGM
いにやあがれ	帰れ(悪い言葉)	N
いにんさる	お帰りになる	T
いにんさる	別れの挨拶、お帰りにさるか	L
いにんさる	別れの挨拶、お帰りにさるか	L
いにんさんな	帰るな	B
いぬる	往ぬ、帰る	T
いぬる	帰る	NB
いぬる	帰る	ESK
いぬる	帰る	HYC
いぬる つき	過ぎ去った月	K
いね	かえれ	C
いねる	お帰りになる	T
いのー	帰ろう	K
いのう	帰ろう	C
いのこ	葛粉	S
いのこあれ	初冬(亥の子)の大荒れ	K
いのじ、いぬる	帰宅	M
いのね	鼠蹊線肥大、股線肥大	T
いび	指	YNE
いびせー	恐ろしい	T
いびせい	恐ろしい	M
いびせがる	恐がる、恐れる	O
いびる	苦しめる	N
いびる	火床の中で焼くこと/いじめ	M
いびる	萎靡る」いじめる、苛める	SLM

ア行

方言	注釈	出典
いぶせい	危険	K
いぶる	口先で皮肉っていじめる	I
いぶる	くずぶる	S
いまのとうだ	今の通り	N
いもひき	恥ずかしがる、ぐずぐずする	M
いもひき	引っ込み思案	I
いやあーがる	言う	E
いやあーがんな	言うな	N
いやけない	むごい、かわいそう	I
いやけない	可哀想な	AS
いやだげな	嫌だそーだ	L
いやんかい	いやでございます、否定	K
いやんだ	いやだの唐鐘弁	L
いやんだーあ	否定です	K
いやんでも	いやでも、否定でも	V
いらく	かわく(桶等が乾いて開く時)	S
いらく	乾く	THA
いらんせわ	不要の世話をする	Y
いるり	囲炉裏イロリ	G
いろー	さわる	S
いろう	弄する	T
いろう	弄う イラウ、いじる	K
いろうれる	腹を立てる	M
いろめ	顔色	S
いわえる	結わえる 結ぶ、くくる	CSM
いわず	おし、唾	TSM
いわんこーに	言わずにおいて	S
いんぐらもんぐら	優柔不断、あっちこっち	I
いんぐりまた	股引き	B
いんぐりもんぐり	優柔不断、右したり左したり	S
いんぐりもんぐり	不格好な姿	A
いんぐりもんぐり	のらりくらり	KH
いんぐりもんもんぐり	のらりくらり	H
いんころ	犬の子<幼児語	C
いんさんな	言いなさんな	N
いんじゃんさい	帰って下さい	K
いんでだ	お帰りになる	T
いんどる	帰って居る	C
いんにや	否、ちがうこと、いいえ	ANO
いんにや、いんや	否定の返辞	TS
いんにやー	否	C
いんにやーあ	否	N
いんにや	いいえ	Y
いんのころ	犬の子<幼児語	C
いんはった	言いなさった	E
いんま	今	G
いんまがた	今しがた	Y
いんまさき	先刻	T
いんや	否定の返辞	O
いんや、いんにやあ	否	C
うぐる	もぐら	T
うしろほんどくじ	身体をつぼ、ぼんのくぼカ	K
うじゃける	ただれる、くずれる	S
うづく	痛む	CMN
うたてー	汚い、気持ちが悪い	T
うだれご	乳児	T
うち	わたし、自分の家	SY

ア行

方言	注釈	出典
うち	自分の事<女の子の用語	IN
うち、たく	夫の呼称(対他人)	T
うち、うちのひと	夫(対他人)	T
うちいきんさいやー	私の家(に)来なさいませ	I
うちのおっさん	夫の呼称(対他人)	T
うちのしー	内の氏、我が家の主人	I
うちのひと	夫の呼称(対他人)	T
うちぼーき	はたき	T
うっさく	打擲する、なぐる	O
うっさらかみ	みだれ髪	I
うってかました様	丁度合填まる	C
うっとーしい	やかましい、邪魔になる	L
うつり、おうつり	土産の移り	T
うづよう	うなる	N
うてる	腐敗に近い状態	M
うどむ	唸る、呻く	T
うなじ	うしろ首	Y
うなじ	背	E
うなじ	肩	H
うなみ	雌牛	M
うね	分水嶺、高い部分	O
うばる	腫物の緊張感	T
うぶえる	溺れる	YNE
うぶきん	産衣	T
うぶこさぎ	新生児に着せる衾のない着物	B
うぶし	おし	EMT
うぶし	唾オシ	TNC
うべあわせ	埋め合わせ	S
うべる	うめる 湯を水で薄める時	S
うべる	水をたす	A
うまー	うまい<母音	T
うまい	おいしい	Y
うみぞこひ	レンズの溷濁コンダク	T
うみる	蒸す	S
うら	おれ、わたし、自分	TYM
うらあ	自称)自分は	M
うらがえし	表裏が逆の事	L
うるい	適当に降った雨	S
うるうた	満腹、十分に	S
うるせー	やかましい	L
うろ	鰻取りの道具	Y
うわっぱり	上衣	Y
うん	肯定の返辞	O
うんどう	無口な者	C
うんにや	否定の返辞、いいえ	ON
うんにや	違う	H
うんにや	そうではない	I
えー	肯定の返辞	O
えー	よい	T
えーが	よいけれど	O
えーけんど	よいけれど	O
えーげに	上手に	A
えーげに	良い具合	HK
えーこたーえーが	よいけれど	O
えーしこ	良い具合に	S
えーしこうに	良い具合に	A
えーやっと	どうやら、やっとのこと	SAT

ア行

方言	注釈	出典
ええーし	良家、偉い人等指す、羨み意	M
ええんじやないか	良いではないか	K
ええ	よい	CN
ええきび	それ見たことか、不幸を喜ぶ	M
ええけえ	よいです	Y
ええしこう	よい格好	I
ええせん	永銭』永楽銭	C
ええによぼ	良い女房』美人の事	M
ええもん	菓子おやつ、子供の喜ぶ物	E
ええやらさつと	かつかつ、どうにか	C
えがおにん	婚礼席の進行係	B
えがま	まさかり	Y
えがまりよーり	粗末な料理	B江津
えき	土へん+谷』浴』小さい谷	K
えき	支谷、エキ	T
えぎ	蜘蛛の糸	T
えぐいも	里芋	YKE
えげつない	酷い、ひどいく、いやらしい	K
えご	魚のすむ穴	C
えご	曲がり	M
えご	深い谷	A
えさ	餌』飼料	N
えさつと	わざわざ、折角	T
えっさと	えやらさつと、どうにか	C
えつと	沢山	MNT
えつと	非常に	O
えつと	たくさん	SCO
えつと	沢山にの意	CL
えつとする	一生懸命する、充分にする	L
えつと	沢山	A
えば	蜘蛛の巣	T
えばる	我儘で威張る	L
えびすばしら	四つ部屋の中心柱	B
えびせい	恐ろしい	K
えびせい	気の毒だ、みじめで汚い	L
えべす	恵比寿	C
えべせー	恐ろしい	T
えべせえ	おそろしい	C
えべせがる	恐がる、恐れる	O
えぼし	とさか	T
えらーあ、えらい	苦しい	L
えらあ	困難、難儀	C
えらい	非常に(えらい暑い)	K
えらい	つらい、苦しい、きつい	TSK
えらいずくなあー	ひどく抗議する	H
えんがまち	縁側	K
えんこー	河童	TLK
えんこーばな	まんじゅしゃげ、彼岸花	TL
えんに	縁、縁側	Y
えんによー	遠慮なく、十分	T
えんによー	思う存分	TK
えんによー	じゅうぶん、遠慮なく	H
えんによう	随分	A
えんによう	強く、生沢山に	C
えんによう	ぞんぶん	M
えんによう	十分に	S
えんによう	沢山	N

ア行

方言	注釈	出典
えんばと	あいにく	TMS
えんばと	丁度、おりあしく	C
えんべつ	鉛筆く母音	T
えんや、えんに	縁エン	E
えんやさつと	ようやく、やつと	M
えんやらさつと	やつと出来上がった時 等	L
おーかん	往還』街道	K
おーぎょう	おおげさ	S
おーちゃく	なまけること	KG
おーちゃく	怠けてばかりいる	L
おーつもごり	大晦日、一年最後の日	K
おーてんくら	大いに嘘をつく人	L
おーどー	大胆	K
おーどー	横着	K
おーのつな	不都合な	B江津
おーもの	饒舌ジョウゼツ、多弁	T
おーものをいう	言葉数が多い、御喋り、大言	M
おあがんさつたかなー	朝食後の来訪挨拶	I
おい おい	ひとを呼ぶ時使う	I
おいこ	背負い籠	KS
おいっちょ	お手玉	T
おいっちょ	おだてる	B江津
おいど	尻	KI
おいのこ	荷物を背負う器具	S
おいのこ	背負い梯子、背負い用具	T
おうけに	有難う	Y
おうちゃくもの	横着者』ずるいこと、怠け者	K
おうつり	贈り物の時すぐする返し	L
おうどう	横道』本道から外れ	K
おうへい	生意気な事	L
おえる	男性陰茎の勃起	M
おおがっそう	大元僧』ウツサラ髪、乱れ髪	I
おおぎょう	大変	N
おおけなかお	ふくれ顔、高慢な顔	A
おおけに	有難う	E
おおつもごり	大晦日	K
おおてんくら	大嘘	B
おおへいもの	人を人とも思わぬ者	Y
おかー	母の呼称	T
おかーさん	母の呼称	T
おかか	お母さん	Y
おかっあん	地区の名士の奥様	I
おかっあん	奥さん	E
おかっつあん	家柄のよい奥さん、良家主婦	SK
おかっつあん	主婦の呼称	OT
おかっつあん	上流家庭の主婦	I
おかっつさん	奥さん	Y
おかっつあん	中流の内室	M
おかみさん	主婦の敬称	TO
おから	豆腐から	T
おがまれない	見られない、不細工	S
おき	燠』木炭薪の燃焼後赤い状態	K
おきや	置屋』芸者を抱え紹介する所	K
おきゅー	起きよう	T
おきよー	起きよう	T
おきんさい	物をおけ、作業をやめ	S
おきんさい	起きなさい』眠りゐ起こす	S

ア行

方言	注釈	出典
おく	止める	K
おくさん	主婦の呼称	O
おこ	蠶	T
おこーひつ	家柄のよい家の未亡人	S
おこさん	蚕、かいこ	S
おこさん、おこ	蚕カイコ	T
おこす	寄り越す	T
おことい	忙しい	MT
おごねる	荷作りする	SC
おごる	騒ぐ	T
おさ	魚の鰓エラ	TC
おさら	御手玉、子供の遊び道具	KT
おさんどん	炊事	L
おいしい	惜しい	C
おしまいんさった	今晚はく挨拶	Y
おじける	怖がって尻込みする	O
おじゃみ	お手玉	T
おせ	大人	YKN
おせ	大人、一人前の男	I
おせ	大人	ATM
おせ	大人	ES
おせーる	教える	K
おせー	恐ろしい、こわい、酷い	L
おそ	嘘	N
おそれ	臆病な人	L
おぞー	恐い	O
おぞい	恐ろしい	KTM
おたんごなす	馬鹿な事	L
おたんごなす	まぬけ、頭の悪い奴<卑俗語	K
おだをあげる	大声をあげる	N
おちゃあふる	無駄なことをする(重宝記)	I
おちよくる	からかう	LI
おちよぼぐち	小さい口	S
おちる	飯を釜よりひつに移す	YS
おっかー	母の呼称	T
おっかあ、おかあー	母	IE
おっかあ、おかか	お母さん	E
おっかあー	お母さん	Y
おっかさん	普通の家)母	K
おっかさん	母の呼称、おかあさん	TY
おっさん	おじいさん	Y
おっさん	おじさん、伯父、叔父	ST
おっちょこちよい	軽率な人、そそっかしい	Y
おっちら	落着いて、ゆっくり	C
おっちらと	ゆっくりと	M
おっつあん、おっさん	主人の呼称	O
おっつけ	程無く、其の内	BY
おっとー	父の事	I
おっさん	お父さん	NE
おっつあん	おじさん	E
おてんとうさん	太陽	E
おとしがみ	用便に使う紙、ちり紙	T
おとっあん	お父さん、父(中流の家	IE
おとっつあん	父の呼称	T
おとっつあん	お父さん	Y
おとつい	おととい、一昨日	YK
おとつい(つひ)	一昨日	E

ア行

方言	注釈	出典
おととい	おとつい、一昨日	K
おとど	年の近い兄弟	IK
おとどい	兄弟	M
おとどい	男の兄弟	K
おとまー	五郎王子の弟、頼りない弟	K
おとんぼ	末っ子	KST
おとんぼ	一番下の弟	Y
おとんぼー	末子	BT
おとんぼう	一番下の息子	A
おどし	かがし、案山子	TBK
おどり・おどりこ	乳児の頭頂部の鼓動で動く部	T
おどりやー	立腹した時使う	Y
おどれ	汝<悪い時使う>こら	TN
おどれ	お前、貴様	S
おどれえ	おのれ、人を罵って呼ぶ語	I
おどろ	もや薪	G
おどろ	枝つき薪	TO
おどろぎ	枝つき薪	O
おどろく	目を醒ます	OT
おなぎ	うなぎ	EN
おなご	女の事	K
おなごし	女性衆	K
おなみ	牝牛、めすうし	T
おぬし	相手の人に対し、君	Y
おのし	お前、汝	TN
おのれ	君、お前	ETY
おはぎ	餅米と粳米を混ぜ餡でまぶす	L
おはち	飯櫃、木製の櫃	T
おはよう おかえり	早くお帰りなさい(送出挨拶)	K
おばさん	主婦の呼称	O
おばる	患部がうずく	A
おばる	腫れものが痛む	S
おひさん	太陽	E
おひつ	飯櫃メシビツ	T
おびえる	おそれる	N
おびたれほ一き	帯が緩んで着物が乱れる姿	T
おべべ	衣服(幼児語)	L
おべん	お世辞	ET
おべんちゃら	お世辞	TS
おべんちゃら	お愛想	A
おほくび	衽オクミ	C
おほいい	恐い	N
おぼさん	おばさん	YE
おぼさん	主婦の呼称	O
おぼさん	お母さん	N
おまえらー	お前たち	T
おまやー	お前は<助詞との連絡	T
おまんずし	鯖又は鯛席の鮓、きらず鮓も	K
おむろ	神棚(江津)	B
おもしれー	面白い	K
おもて	下座敷	Y
おもて	表座敷	T
おやかた	金持ち	K
おやかた	大商店の主人、主人の呼称	TO
おやかっあん	親方	YE
おやかっつあん	主人の呼称、主人	OKT
おやかっつあん	お金持ちの尊称	L

ア行

方言	注釈	出典
おやかっつあん	地区の名士(小作が地主に対	I
おやかっつあん	親方	YT
おやかっつあん	上流家庭の主人、親方	I
おやかっつあん	中流の主人	M
おやぐ	泳ぐ	N
おやじさん	主人の呼称	O
おら	俺、自身	NI
おら	僕、俺、自称	EYM
おらぶ	泣く	G
おらんよーになる	いなくなる	B
おりあう	病気の小康を得る事	T
おりよーて	落ち着いて	B
おりよ……何々かい	おりよ上手になんさったかい	V
おりんさる	居なさる	N
おわえこー	鬼ごっこ	T
おわえっこ	鬼ごっこ	K
おわえる	追っ掛ける	S
おわえる	追う	KCN
おんさい	居なさい	T
おんさるかなー	居られますか<来訪挨拶>	KL
おんたー	雄オス	L
おんたー	雄オス	L
おんぼする	幼児を背負う	K
おんぼる	こわれた、古い	N
おんさるけえ	居られるから	H

カ行

方言	注釈	出典
かー	つい	AK
かー	思わず、つい	T
かー、かー終わった	もう終わった、ついに終わった	L
かー、何々かー何けー	ねー、何々がつい、行ったから	L
かー何々した	予期せず、とんでもない事	L
かあー……	つい何々… <接頭語>	I
かあ	つい、遂に	C
かあ、かあしもうた	不図、無意識	I
かあー	おもわず	N
かあ「かあ逃げた	副詞>ふと逃げた	V
かい	粥、おかゆ<母音脱落>	TYC
かい「いやんかい	……だなあ)	V
かいたく	山や野を切り開く、開墾	L
かいたしき	全然	T
かいたしようなし	意気地無し	K
かいたち	かいつぶり、水鳥	T
かいたな	弱い	C
かいたの	何いの、そうであろう	C
かいたのー「何々ー	であろうか<推測>	I
かいたる	蛙	E
かえし	表裏が逆の事	L
かえりんさい	帰っていいです	A
かえりんさんな	帰ってはいけない	A
かかー	妻(他人に射し	T
かかさん	母の呼称、母さん	TY
かかりうど	何もしないで親係りの長男	S
かかりご	嫡子	T
かかりつけ	何時も世話になる先	S
かがち	摺り鉢	T
かがつ	摺り鉢、すりばち	TMY
かがなる	(腰)を曲げる	A
かがみくさ	薬藨草、ほぼずき	T
かかがい	大変	N
かかがい	格外、並みはずれている	K
かかくれごー	隠れんぼ<遊び童語>	T
かかけてくる	走ってくる	B
かけやいこ	駆け足競争	M
かけらかす	早く走る	A
かけらかす	走る	CK
かけりこー	走る、走りくら	T
かける	走る	YET
かこー	書こう	T
かこう	仕舞っておく	T
かこくさい	布など)焦げ臭い	T
かごむ	屈む、しゃがむ	C
かさ	梅毒	T
かしくまる	座る	K
かしくまる	正座	A
かしくまる	正座する	BTM
かじける	いじける	K
かじなる	かごむ、身を曲げる	T
かじむ	縮まる	K
かす	水に漬ける	T
かす	糟粕)水に浸す	S
かす、みずやゆにかす	水や湯に浸す	Y
かす	聾啞<罵り語>	L
かす	おし、聾	M

カ行

方言	注釈	出典
かず	反応の鈍い者、耳一	K
かず	耳が聞こえない	S
かずえる	数えるカゾエル	C
かずき	冬顔を掩(オオ)うもの	T
かづく	被る	KA
かずつんぼら	つんぼ	E
かずむ	嗅ぐ	CAT
かずむ	臭い、嗅かぐ	K
かせる	ふやける	K
かたかい	痙攣ケイレン	T
かたくわ	いつこく、律儀	S
かたくわな	片意地な	C
かたぐ	運ぶ	K
かたぐ	かつぐ	T
かたし	櫓の突	T
かたつら	片方	K
かたひら	片一方	AS
かたる	話す	KS
かち	群	A
かっこ	子供の下駄、下駄	YM
かっせき	貸席」芸者を呼んで遊ぶ所	K
かつた	借りた	B
かつて	台所	KL
かつぼ	うすばかげろう	T
かつえる	飢える」食べ物が無い状態	S
かつがつ	ぎりぎり	A
かつれる	飢える	A
かづく	かむる、冠る	C
かど	前庭	T
かない	妻(他人に対し)	T
かなおや	仮名親、契約親	C
かばち	饒舌ゼウゼツ、よくしゃべる	TSL
かばち	口、物言い	IN
かばちたれ	よくしゃべり過ぎる人	L
かばちたれ	言う	K
かばちをいれる	発言する	M
かばちをたてる	口答する	T
かひ、かい	お粥	E
かぶる	かむ、噛み付く	CK
かべ	徴、かび	NC
かまう	からかう	KSA
かまう	からかう	CT
かまう	いじる	T
かまう、いろいろ	弄する	T
かまうな	ほうっておけ、構うな」	S
かまかけ	かまきり、蠅螂	T
かまぎ	叭	Y
かまぎだいく	下手な大工	B
かまつか	つゆ草	M
かまふんぱり	年がいても嫁にいかぬ女	B江津
かまぶこ	蒲鉾	E
かまぶし	かまぼこ	Y
かみい	髪結い」美容院、床屋	K
かみざ	上座敷	Y
かや、何々したかや	何々されましたか	K
かや「いくかや	疑問の助詞)	V
かやくめし	糲飯、まぜ御飯	T

カ行

方言	注釈	出典
かやる	転ぶ、倒れる	OA
かやれる	倒れる	SHM
かやれる	物が倒れる	Y
から一	辛いく母音	T
からかさ	傘、頭に冠むらない枝の有傘	K
からかみ	襖フスマ	EY
からげる	裾を絡げる」折り返し上に揚	S
からつ	唐津焼」焼もの	M
からむし	麻	L
からん	借りない、借らん	T
かりん	借りない、借らん	T
かるう	荷う、荷負う、担ぐ	TS
かるう	背負う	A
かわ	年上の妻	S
かわりばんこ	かわるがわる、交代に	L
かわりばんてん	かわるがわる、交代に	L
かんかんぐさ	酸漿草	T
かんかんぶたい	買いだしの行商人達(金属箱	K
かんきち	瓦職人の弟子	B
かんしゃくもち	短気者	Y
かんしょ	甘藷(使わなくなった	K
かんぜより	紙縹コヨリ	EK
かんづち	金槌	N
かんぼこ	かまぼこ	Y
があ	つい	C
がいな	強い、強く大きい	CM
がいに	思った以上	E
がいに	ひどく、大変	S
がいに、一一暑い	非常に暑い(米子地区も)	L
がいる	蛙	T
がえる	蛙	N
がき	子供(卑様)罵り語	TL
がき	汝	N
がき	子供(叱る時使う)	Y
がごんどんさる	しゃがんでいなさる	M
がしん	臥薪」飢饉	ST
がず	つんぼ	N
がっそ、がっそー	女の髪 of 乱れている事	T
がっそう	頭髮のみだれ	Y
がや「いうたろうがや	強く念を押す)	V
がやしい	逆、さかさま	C
がらんどう	中が空、空っぽ	M
がんぎ	石の階段、石の畝等	M
がんぎしゃ	雁木社」石神社	K江戸
がんち	めんちかつ	E
がんち	片目	T
がんつー	蟹	T
がんつう	蟹	N
がんぶる	船が横にゆれる、ガブル	S
きあいがわるい	いやな感じで気分が悪い	A
きいず	蝗いなご	N
きがこまー	臆病な人	L
きがこまい	意気地がない	K
きぐみ、きじめ	布の焼ける臭い	S
きさくなひと	気さくな人、男ぎのある人	C
きさま	貴様」お前	Y
きしゃなあー	汚い	H

カ行

方言	注釈	出典
きしゃない	汚い	YSE
きしゃない	きたない<子音転換	TN
きずいもの	気随、気促	C
きずし	鯖の塩漬け	B
きちゃんさい	来てみて下さい	K
きつぽ	傷跡	ESY
きつぽー	きずあと、痕痕	T
きつぼう	傷跡	KG
きつい	厳しい、苦しい	SKL
きつぱ	傷痕	N
きてみんさい	来てください、来て見なさい	KH
きとい	味の濃厚な事	Y
きな一れ	着なさい	O
きない	来なさい、命令語	C
きない	着なさい	O
きによー	昨日<音韻添加	T
きによーのぼん	一昨夜	TK
きによう	昨日	C
きねり	甘柿	YA
きの	杵	TY
きの	杵キネ	OE
きばる	元気をだす、力む	S
きばる	奮発する	N
きばる	振る舞う	C
きび	玉蜀黍	L
きび	とうきび	Y
きびがわるー	気味が悪い	H
きびくそ	気持ち、一悪い	SH
きびしゃ	かがと	EMN
きびしゃ	かがと	Y
きびしゃ	踵キビス	BKA
きびす	かがと	T
きびる	結ぶ	CN
きびる	結ぶ、いわえる、くくる	MS
きぶんがわりー	病気であることを示す	T
きほんもう	気ほんもう』気の向くまま	C
きまち	来待』陶器の釉薬による色	K
きまんごく	今を限り／絶対	N
きやかす	消す	C
きやーがった	きた<卑俗語>	N
きやいがわるい	気持ちが悪い	M
きやいがわるい	不快である	T
きゆういも	甘藷	Y
きよー	着よう	T
きらず	豆腐のかす、おから	M
きられる	来るの敬語	C
きりいも	馬鈴薯	T
きりご	蝗イナゴ	T
きりばん	俎板マナイタ	T
きりめ	繊維の焼ける臭い	S
きりめくさい	紙など)焦げ臭い	T
きりもの	着物	MTY
きりもん	着物	EY
きんか	はげ頭	S
きんか(ん)いも	馬鈴薯	C
きんかいも	馬鈴薯	TS
きんかん	はげ頭	K

カ行

方言	注釈	出典
きんかんいも	馬鈴薯	YKE
きんかんいも	馬鈴薯	AN
きんく	ごへいかつぎ	-
きんさい	来なさい	E
きんさい	着なさい	OT
きんさい	来て下さい	AH
きんだめる	きたえる	M
きんばる	りとひっぱる	T
きんりよーう	稗秤	T
きんりよう	秤ハカリ	KM
ぎーす	きりぎりす	T
ぎいす	きりぎりす	E
ぎし	岸	A
ぎつちよ	左きき手の人	C
ぎつちよ	左利き	MT
ぎつちよ、左ぎつちよ	左利き	E
ぎつちよん	左手きき	N
ぎつつちよ	左利き	Y
ぎっと	ちんば	M
ぎっとー	ちんば、びっこ、揃わない事	T
ぎっとん	ちんば、右と左が違う	S
ぎよーさん	多いこと、非常に	L
ぎようさん	沢山、量の多いこと	LNO
ぎようさん	非常に、沢山	T
ぎよさん	多数	Y
ぎり	つむじ、施毛	KT
ぎんなん	銀杏』	N
ぎぼうし	擬宝珠、ギボン	C
くいさす	食事なかばで立ち去る	B
くいわけ	食べ残し	T
くえる	崩れる	K
くぎる	くすぶり焼ける	S
くぐし	草などためて焼く	S
くぐし	草木等の焼床を作る	M
くさあ	くさい	N
くさす	嘲る	C
くじゅーくる	叱る	AHS
くじゅうくる	叱る	MLK
くじをくる	文句をゆう「公事を繰る」カ	K
くじをくる	叱る「九字を切る」カモ	K
くじをくる	叱る事、しかる	CN
くじをくる	叱る	EY
くじをくる	小言をいう、叱る	M
くすねる	横取りする	A
くすぶる	いぶす、煙をたてる	K
くすぼつとる	家の中にとじこもっている	B
くずな	甘鯛	EMA
くずな	あま鯛	Y
くずや	草葺き屋根	C
くたばれ	死ぬ	C
くたびれる	疲れる	N
くたぶれる	草臥クタブレ』疲れる	SCN
くだらん	詰まらない	T
くだん	件』	C
くちなお	蛇の事	B江津
くちびる	唇	Y
くちびる	くちびる	N

カ行

方言	注釈	出典
くつがた	魚を入れておく小桶(江津)	B
くど	突局「竈カマド	C
くど	竈突「竈の煙出し、かまど	K
くど	竈 カマド	TLM
くど	火をたくかまど	YN
くどーまんどー	しつこく繰り返す	S
くどい	しつこい	N
くどにきをくべる	竈に焚き木を燃やす	H
くびって	きびる、括る	I
くびる	きびるき、括る(重宝記)	I
くまー	来ないであろう	T
くまい	来まい	T
くまく	縫い方の種々	M
くみじ	汲み地「泉、川端の洗い場	LK
くみじ	川端の洗濯場	T
くらわす	撲る、食らわす、被害さす	G
くろねこ	金つり、戦前の海水パンツ	K
くろやー	めじなく魚名	K
くわいちご	桑の実	LT
くんじん	迷信	TSC
くんじんをいう	禁句をいう、	M
ぐずい、おびがぐずい	緩い	K
ぐずる	愚図る「苦情いう、我が俣	S
ぐつ	都合、あんばい、具合	S
ぐみ	あきぐみ、あさどり	T
ぐり	石の事	K
くり	暗礁	K
くるげな	来るそうだ(予測)	K
くれー	呉れ	T
くれえ	呉れ	N
くれんさい	下さい	T
くろーなー	黒くない	T
くろうなー、ーーない	暗くない、黒くない	T
ぐわいがわりー	病気であることを示す	T
け!	右へ行く時(牛馬ら掛け声	K江戸
けー	ーーから、故に	TG
けー	から、ので。	A
けー	つい	K
けー、ーーだけえ	ーーから、故に	T
けー、おわったけー	もう終わった、末にも付す	L
けー、何処へいくけー	何処何処へ行くから	L
けー、昨日けー、何々	昨日から俺がね、行ったから	L
けーのー	そうだから…ねえ	G
けえーのー	故に	K
けえ	故に、であるから	C
けえ、つめたあけえ	冷たいから(重宝記)	I
けえー……	<接頭語	I
けえ「高価だけえ	…だから、故に	V
けえすみ	消し炭	M
けえとう	鶏頭の花ノケートを編む	C
けえのう	故に、やるけえのう	I
けけしい	少ない、稀々しい	C
けせる、けせり	キセル	N
けそけそ	あわて者、軽率な	I
けたいがわりい	気が悪い	C
けたくそがわりい	気持ちが悪い	G
けたくりがわりい	恥ずかしい	K

カ行

方言	注釈	出典
けちんぼ	出し惜しみする人	L
けちんぼ	吝嗇家リンシヨク、物惜しみ	T
けちんぼ	必要以上に使わない閉まりや	K
けっか	却って、結句	KBT
けっか	割り合い、少しは	S
けっかえー	案外良い	A
けっかと	割合に	E
けっく	かえって	M
けっこー	思いのほか	S
けったくさい	面倒くさい	L
けっらかす	けとばす	S
けつ	お尻	YN
けつかええ	案外よい	N
けなあ	稀ない、少ない	C
けぶたあ	煙たい	N
けぶる	煙る<子音転換	T
けぼちゃ、かぶちゃ	かぼちゃ	E
けまー	下駄の齒	T
けら	金ヘン+母=3月鉦粗鋼	K
けんけん	片足跳び、けんけん	TK
けんけんご	片足跳び	T
けんご	あっけなく	M
けんご	決して、きっと	S
けんご	思わず、ーーに言うて仕舞た	E
けんご	必ず、念を押す	L
けんご	必ず、みごと	N
けんごに	案の定	K
けんちゃんじる	ご正忌の忌明けの料理	B
けんびき	筋肉の小痙攣	T
げえ	嘔吐	N
げさく	小作	T
げさく	下品な	A
げさく	悪い事	K
げじげじ	毛虫	L
げじげじ・げじ	げじげじ	T
げす	席次の最後、びり	T
げつ	席次の最後	T
げつ	しまい	E
げつ	最下位	N
げと	嘔吐「反吐」けとを吐く	CN
げどー	外道「人を罵る語	L
げどう	悪、土方、無頼漢	Y
げどう	外道「人非人、あんなゲドウ	I
げどう	悪いやつ	NA
げどはき	嘔吐	GM
げな	ーーだそうだ	T
げな	何々そうな	C
げな、……だけな	げな、否定語、不確実な事	T
げなげなばなし	根拠の無い又聞き話	MK
げに	不確実な事「前言を打ち消す	K
げに	そうそう、思出し語りだす時	T
げに	ひどく、甚だしく	K
こーごー	背が前屈みな事	S
こーた	かった、買う	K
こーに、喰わんこーに	食わずに置く	T
こーべ	徹	S
こーらん、こーらん花	山百合	T

カ行

方言	注釈	出典
こいつとそいつ	是れと其れ	T
こいべ	今夜、今夕	CT
こう	買う	N
こうこう	香のもの(草に沢庵漬け)	EY
こうしゃくをいう	理論めいた話をする「講釈	M
こうじ	糍』麩トモ	K
こうぞう	楮コウゾ』同意ウをおった	K
こうぞお	楮芋』楮の皮を剥いだ品	K
こうへいな	生意気な	M
こうへいなひとだ	要領のよい人	H
こうべ	微カビ	EMC
こうろく	賃金を受けずに働く、奉仕	M
こえ	昔の肥料の事	L
こえたご	肥え桶	Y
こかず	倒す	KS
こがー……の一	こんな事は……なる	I
こがーな	こんな、この様な	TKN
こがーに	こんなに	ES
こがあだっちゃー	こうゆう事だのに	H
こがあ、あがあ	形容的な内容をもつーな物	I
こがあ、こがあな	この様に	N
こがあなる	こんなになる	K
こがい	牛馬の飼料	T
こがせ	乾田	B
こがり	釜底に焦げついた飯	Y
こきんはよう	早くの感動語	C
こぎお	扱芋』麻の皮を剥いだ半製品	KL
こぎる	値切る	S
こく	頭を打つ	K
こくーうに	非常に	B
こくうに	金輪際コンリンザイ	N
こくれる	仕事が遅れる	M
こぐ	欠く	K
こぐ	折る	N
こぐ	扱ぐ』麻楮の皮等はぐ事	K
こぐち	ものの端	T
こけら	木屑	T
こける	転ぶ	OTN
こける	倒れる	CM
こげ	飯の底つき	T
こげーな	この様な	E
こげる	折砕、折れる	CM
こげる	一部が砕けたり剥がれたりする	K
こころぼそい	さみしい	L
こし	釣銭	T
こしき	甑(重宝記)	I
こしつとう	子供馬鹿	N
こしと	子供く罵り語	T
こじき	金や物を恵んで貰い生活する	L
こじける	凍える	MN
こじける	かじかむ、手足等が凍える	KC
こじける	手足がかじける	S
こじりま	僅かばかりの仕事(江津)	B
こすい	ずるいこと	L
こすい	利益誘導しずるい	K
こそぐる	くすぐる	MV
こそげる	刮げる、こさぐ(重宝記)	I

カ行

方言	注釈	出典
こそばい	擦ったい、クスグッタイ	K
こそばいい	くすぐったい	T
こそばかす	くすぐる	S
こそぶる	くすぶる	K
こたえる	弱る	N
こちあたる	ぶつつかる	S
こっきん、こっちん	けん玉、子供の遊び道具	K
こっくりさん	呪い的一种	K
こつつく	ぶつつかる	A
こっていかけたか	ほととぎすの鳴き声	T
こっとい	雄牛、牡牛おうしここの転	MT
こっといかけた	時鳥の鳴き声	T
こっば	燃料	T
こっぼ	うすばかげろう幼虫(蟻地獄)	T
こてつ	小鉄、砂鉄(鉄山用語)	K
こでっち	小せがれ	T
ことり	人さらい、子捕り	K
ことわり	謝る	K
こどうに	是も前と同	C
こない	小さい	T
こなす	砕土する	M
こにわ	庭の事	K
こねえな、こがーな	こんな	N
こねら	小鼠	TS
こばかにする	人をけなす	Y
こびるま	午前中の間食	B
こぶ	毘布	EY
こぶい	出し惜しみする人	L
こぶら	ふくらはぎ、こむら	T
こぶらがえり	ふくらはぎが収縮痙攣する状態	K
こまー	小さい	BN
こまい	来まい	T
こまい	小さい	EKH
こましゃくれ	大人ぶった子供	Y
こむそーがん	沸きすぎた酒(江津)	B
こもそう	虚無僧コムソウ	C
こらえてくれ	許してくれ	H
こらえる	堪える	K
こらえる	赦す	T
こらえんさい	我慢しなさい。堪えなさい」	S
ころがし	肥料桶	T
ころげる	転ぶ	ON
こわあ	息苦しい	C
こわい	硬い	T
こわい	疲れた	K
こわい	苦しい	T
こん」何こん	魚を数える時の単位、1匹	S
こんげん	すっかり	M
こんげん	全部	L
こんげん	それぎり	I
こんげん	それっきり、それ限り	NTA
こんげんもくれん	一目散	M
こんご	うすばかげろうの幼虫 蟻地獄	T
こんた、こんたし	汝	N
こんちくしょう	此の卑劣(愚かな人)	I
こんちや	今日は	C
こんちゆう	此中、先日	C

カ行

方言	注釈	出典
こんとー	此の通り」こんな	S
こなな、あんな	方位から転化、こなな奴	I
こななさん	これをされる人、注意要する	I
こななしー	人に話しかける時、其処の人	L
こんのー	穀物の刈入れ後の処置	ST
こんのう	脱穀	M
こんまい	小さい	K
ごーぎに	非常に、ひどく	OT
ごーじゆくな	執拗な、シツヨウ(江津)	B
ごーじようぱり	かたくわで、意地っ張り	L
ごあがに	この様に	C
ごあさって	明明後日	T
ごいた	寄越す	K
ごいんげさま	真宗の僧侶(御院家様)	K
ごいんげんさま	寺にいて仏事を司る人真宗	L
ごうたあがすく	腹を立てる、立腹	M
ごき	御器』木椀	TYC
ごきあらい	みずすまし	T
ごく	無頼漢	N
ごくとーれ	放蕩者ホウトウ	T
ごくとーれ	遊びふける品行の悪い人	L
ごくとうれい	親不孝もの	M
ごくとおれい	品行素行の良くない事、同人	I
ごくどおれ	無頼漢	N
ござーうつ	軽病で寝る	B
ござしき	後妻(主に老人)	Y
ござんした「何でー	何々でございました	E
ござんす	ございます	C
ごしない	自分に呉れ	K
ごしない「まってー	待って下さい	K
ごしんさい	下さい	B
ごしんさん	主婦の呼称	O
ごしんぞうさん	上流のおかみさん	Y
ごす	呉れる	TK
ごせ	下さい	K
ごせー	呉れ	T
ごせー、ごっせや	呉れ	T
ごせーや	下さい	S
ごせえ	よこせ、呉れよ	C
ごせんさん	相手の家の主人を尊敬して	I
ごそぐ	運ぶ	I
ごたい	身体	Y
ごたをあげる	腹を立てる	N
ごっそり	前同様	C
ごっつー	非常に、おおいに	L
ごっと	総て、全部	C
ごつ	沢山	M
ごつー	ひどく、甚だしく	KO
ごつー	大麥	NS
ごつー、ごっーに	大麥、非常に	K
ごつい	大い、仰山な	K
ごつい	ひどい、並みはずれた	S
ごつに	非常に	O
ごねる	死ぬ	T
ごねんにいりまして	御念に入る、十分に心を入れる	I
ごばいがはやい	てきぱきと人より余計にする	Y
ごへいだ	五平太』石炭	C

カ行

方言	注釈	出典
ごもく	塵芥	T
ごもくた	ごみ	K
ごもっそう	魚	M
ごり	鯨ハゼの事、石ぶし魚	KT
ごりっちょ	ごり(魚名)	E
ごんげん	是れ限りで	C
ごんごんじい	恐いお爺さん	K
ごんぞー	いたずら計りする子供、腕白	LK
ごんぞー	無頼漢	T
ごんぞう	無頼漢、悪	YN
ごんちゃ	今日は	C
ごんちゆう	此中、先日	T

サ行

方言	注釈	出典
さーた	咲いた	T
さあー、何々さあー	君、友達への称(同類)	K
さいさい	度々	T
さいちん	世話	S
さいちんふるやく	いらぬ世話をやく	T
さいちんやく	お節介	K
さいちんをかたぐ	人の話を先取りして話す	M
さいなら	別れの挨拶、関西語	L
さいなら	さようなら<別れの挨拶>	GC
さえん	不可	C
さえん	はかばかしくない	S
さえん	物足りない	K
さえん	気が進まん	B
さえん	はえない、詰まらぬ	T
さえん	面白くない	HS
さお	釣竿	Y
さおとつひ	一昨昨日/先おととい	C
さおとどし	一昨昨年	T
さかいき	月代、さかやき	C
さかし	逆さま、逆の意	LM
さかし、さかしんこ	左右逆	L
さかつんぼ	逆さま	S
さかつんぼ	逆立ち	B
さくい	もろい	S
さげる	携える	C
ささくれる	小破	C
さざ	醤油に生ずる黴	ST
さぎ、さだ、ささ	醤油の黴	T
さざがわく	醤油等にわく黴	M
さし	牛の左回りく牛使い用語	T
さしげた	木履き	T
さしずめ	一応	M
さしずめ	取敢えず	B
さする	こする	S
さっちもっち	どのみち此の道、どうでも	C
さでこむ	かき集める、押し込む	K
さでまくる	怒って放ってしまう	K
さでまくれる	強く転ぶ	B
さでる	落ち葉をかき集める	S
さとる	成生する	T
さな	戸の棧	T
さね	種	M
さはち	大きな鉢、大皿	S
さはち	上の開いた鉢	T
さばしい	淋しい	N
さばっとれ	つかまっておれ	S
さばる	取り付く、ぶらさがる	CM
さばる	ぶらさがる	M
さびらい、さびらき	田植え始め	T
さぶい	寒いく子音転換	TE
さぶしー	淋しい	L
さぶす	散らかす	KM
さぼす	散らかす	S
さぼす	曝す』取り散らす	T
さまれ	感心して聞き入れる時の感詞	T
さまれ さまれ	落ち着いてよく聞きなさい	K紙漉
さまれさまれ	感心して聞き入れる時の感詞	B

サ行

方言	注釈	出典
さむさず	冷まさない	I
さら	わかっていて今更	H
さら	新しい。新詞	IL
さらばえる	掻き集める。振り分ける	I
さらばえる	全部取り上げる、残りなく	K
さわ	さお	E
さんじました	戸口を入る時のく挨拶	T
さんだんにこまる	讃談』世間のとりさだ、相談	S
さんだんにこまる	算段』手段方法の考えに困る	K
さんとー	なますく料理	T
さんとう	膾 ナマス	CN
さんどーら	俵蓋、さんだわら	T
さんによーする	算用のサ変動詞	K
さんによう	計算	S
さんの一ず	背中の中中の少し上	B江津
さんばい	田植え等に出す食事	Y
さんばちかさ	竹の子笠	T
さんよう	算用、計算する事	I
ざいごー	田舎、辺鄙な所	T
ざいごべー	在郷兵衛』田舎もの	S
ざしきぼいとー	食事時に他家にゆく人	S
ざまく	乱雑、だらしない	S
ざまく	ぞんざい	K
ざまくな	汚い	T
ざまくな	乱雑な	I
ざまくな	きたない、乱暴な事	M
ざまくな	粗末な、好い加減	C
ざれごと	冗談の事	KL
しー	子』単数の人をさす	K
しー	衆、仲間	K
しーらー	衆等、みなの人たち	I
しあさって	明明後日	K
しいこ	子供の小便	Y
しいら	実の入らない稲	K
しかかる	取りかかる	S
しき	底	M
しき	桶の底	S
しぎ	米頼母子	T
しくさる	中途半端に動作する事	S
しこー	余計、一層	T
しこうに	一層に、却って	C
しご	始末、始末する	SK
しごとし	よく働く人	T
しごとをやる	仕事等をする	Y
しごをする	人をぶつ、打擲	C
しごをする	いじめる、しまつする	I
しごをする	始末する、やっつける	MN
しごをする	人をこらしめる、こらしめる	AC
しごをする	やっつける、いじめる	T
しごをする	片付ける	T
しごをする	うち叩く	C
しごをする	後始末する	C
しごをする	折檻、処置	I
しごをする	魚を調理する	A
しごんならず	いたずら計りする子供	L
しごんならず	いたずらっ子	T
しごんならず	悪童、しごになら徒	C

サ行

方言	注釈	出典
しごんならず	始末におえない人	M
しごんならず	腕白小僧、始末のおえない	S
しごんならず	いたずらっこ／抜目のない人	BK
しごんならず	手に負えぬ子	I
しごんならん	すばしこい、始末に負えない	I
しごんならん	手に負えない	A
しごんならん	性が悪い、	T
しし	猪鹿の事(江戸期)	I
しじゅう	いつでも	L
したーなー	しました「後始末をー	E
したし	ひたし物」ゆでた野菜料理	K
したじ	吸いもの	Y
しちめんどう	うるさい	SA
しちゃんさい	して下さい	I
しっこ	小便	C
しっちょる	知っております	L
してる	捨てる	EY
してる、ひてる	なくす、失う	T
しと	人	Y
しとんさった 何々	何々をしておられた	Y
しとんさる	しておられる	K
しとんさる	していらっしゃる	T
しな	間際、間もなく	C
しなはる「何々ー	何々しなさる	E
しにがわ	死人が着ていた着物	B
しにや	死ぬれば	T
しにやー	死ぬば	T
しぬ	死ぬる	T
しぬら	死ぬれば	T
しぬりやー、	死ぬば	T
しぬる	死ぬ	T
しねわる	根性悪	M
しのこいび	小指	YE
しのと	日陰地	T
しば	枝つき薪	O
しばく	叩く	BM
しばく	打擲する	TO
しばる	縛る	C
しばれ	女のく卑様	T
しふ	紙でつくった衣類布(重宝)	I
しぶちん	出し惜しみする人	L
しまあーかった	しくじった	S
しまいんさった	仕事は終わりましたか	H
しまいんさったかなー	夕食後の来訪挨拶	I
しまくらかず	そんをする	B
しまわんにや	仕舞はねば	C
しみる	凍る	T
しめし	おむつ	G
しもーた	失敗した時の言葉、しまった	L
しもうた	しまった、失策	C
しもうた	失敗した	Y
しもうた、しまった	しくじる	N
しもくらかした	しまった	E
しゃ きらもない	程度の甚だしい事	T
しゃーがる	するく罵語	T
しゃあがんな	為るな、行動を拒否する	C
しゃく	叩く、殴る	KE

サ行

方言	注釈	出典
しゃくしぼね	肩胛骨	T
しゃっぼ	帽子	YCT
しゃにむに	無理矢理に、努力にて行う	L
しゃべる	しゃべる	ETY
しゃがむ	かごむ、踞る	C
しゃくし	しゃもじの事、杓子、杓文字	K
しゃべくりまくる	留め度なくしゃべる	I
しゃりがつかん	途方に暮れる	C
しゅう、ーしゅう	衆、ーしゅう	I
しゅうちゅうごう	S33より気象用語と成	K
しゅじん	夫、他人に対し	T
しゅむ	鼻をかむ時使う	S
しゅむ	鼻をかむ	A
しよーうおもーても	勉強しようと思っても	T
しよーおもーても	しようと思っても	T
しよーことなしに	仕方なく	K
しよーじ	小路」路地、横町	K
しよーとーぎも	臆病(江津)	B
しよーともつても	しようと思っても	T
しようがない	どうにもならない	M
しようべんしょ	小便所	Y
しよしゃ	所作しよさ、どうさ	N
しよしらんかお	相手にせぬ事	Y
しよちゅう	常に	C
しよのむ	そねる	S
しよぼくれる	らくたんする	Y
しよも	収穫	ST
しよも、しよもうする	稲刈り等の収穫の終わり行事	L
しよもうする	収穫する	A
しよんべん	小便、しよんべんたあれ	C
しよんべんおけ	便所	L
しりこいび	小指	EY
しりっぽ	尻尾	T
しろーなる	白くなる	K
しろいなー	白いのは	T
しろみて	代がなくなる事	K
しろみて	田植えが終わってする行事	L
しろみてがゆ	田植え終りに作るぜんざい	B
しわい	強靱な	T
しわい	しんどい、苦しい	HA
しわい	苦しい	KL
しわい	息苦しい、難儀、けち	I
しわい	息苦しい	T
しわい	かたい(食物等	A
しわい	難儀、つらい	S
しわきあげる、	なぐる	S
しわく	叩く	E
しわく	叩く	CYA
しわく、しばく	たたく	N
しわく、しわぐ	打擲する	O
しんき	辛気」退屈	AK
しんき	待ちどうしくてじれったい	K
しんきくさい	退屈だ	L
しんきな	退屈な	TK
しんけー	狂人	T
しんごう	心痛	C
しんさい	しなさい	E

サ行

方言	注釈	出典
しんさる	しなさる	S
しんしょー	身代シンダイ	T
しんしょー	個人の金や土地などの財産	L
しんしょうもち	お金持ちの事	L
しんだい	個人の金や土地などの財産	L
しんちゃんな	しなさんな(ん)入り言葉	I
しんどい	苦しい	KL
しんどうい	退屈な、しんきな	G今福
じきに かえった	すぐに帰った	L
じきにいくけえ	すぐに行くから	H
じきばき	ひく下駄	T
じぎ	遠慮	S
じぎをする	遠慮する	M
じげ	地下J自分の住む地域	SK
じげのし	地元の方	H
じじい	不潔だ<幼児語>	L
じねんに	自然に	T
じばん	襦袢	Y
じぶん	食事によい時刻	V
じもうた	仕舞った、終わった	C
じゃ	である	C
じゃーぎじゃわん	常用の茶碗	T
じゃーなーか「何々ー	何々ではありませんか	E
じゃあ	では	N
じゃがいも	馬鈴薯	T
じゃきつぽ	きりきず	S
じゃぎ	あばた、痘痕	T
じゃぎ	あばた/頭の髪の毛のきず	MK
じゃけい、従兄じゃけ	ではなく従兄だから	L
じゃげ	あばた顔	C
じゃしき	座敷	EY
じゃじょーばる	強欲	B江津
じゃじょうばる	欲張る	M
じゃまくさい	面倒くさい	L
じゃまくさい	面倒	K
じゃまくれ	じゃまする	S
じゃろう	であろう	C
じやりがつかん	途方に暮れる	C
じゅうにいう	多弁	M
じょーうに	沢山に	S
じょーげ	常器碗「ジョウゲワン」木碗	S
じょーげぢゃわん	常用の茶碗	T
じょーせき	屹度キツ	T
じょーに	多いこと、沢山に	LK
じょーに	沢山	OT
じょーに	(沢山)無いの<副詞	T
じょうき-わん	常器碗「いつでも使う茶碗	L
じょうげ	常用の自分の茶碗	K
じょうせき	定せき、屹度	C
じょうせき	推量の言葉	M
じょうせき	定めし、必ず	A
じょうに	沢山	MNE
じょうに	余計に	A
じょうに	多くに、沢山に	KC
じょうに	たくさん、ジョウニやんさい	I
じょうり	草履ゾウリ	EY
じよれん	わさびおろし、おろし	T

サ行

方言	注釈	出典
じょーになー	少ない、沢山ない	B
じら	だだをこねる、強情	S
じら	駄々をこねる	A
じらをいう	無理をいう	C
じらをまう	思うさま拗ねる	I
じるい	ぬかるむ	AN
じろいけえやれん	悪いから困る	H
じるいところ	ぬかるみ	E
じるくた	ぬかるみ	S
じれる	駄々	N
じれる	やんちゃをいう	M
じんごう	一方ならない世話	S
じんごうがいれる	心配させること	M
じんばり	渋ではった敷物	M
ひてる、してる	失う、なくす、すてる	T
すいー	すっぱい	K
すいだれ	わがまま	M
すいば	酸葉スイバ、すかんぼ	LM
すいば、たけすいば	いたどり、虎杖	T
すいばり	刺、とげ	T
すいぼん	流しもと	E
すいもん	吸いもの	Y
すいりんする	水中に潜る	C
すうめ	行李	C
すえる	饘、飯の腐敗	T
すえる	腐る	K
すかす	子供をあやす	B
すかたん	駄目な人/無駄足になる事	K
すかべ	音のしないおなら	S
すくれる	冷たくふるえる	S
すけ	支え木	T
すけべー	好色エッチな人	L
すける	差し出す	K
すげない	薄情	K
すず	瓶、ビン	TY
すず	かん徳利	S
すず	留守	N
すず	徳利、酒徳利	TC
すたる	紛失	S
すだる	後えさがる	M
すてきにおった	大変多く居った	K
すてる、すたる	無くす	K
すどい	狡猾なコウカツナ	T
すね	木の莖	T
すば	茅の花、つばな	T
すばこ、すばく	脱腸	T
すばしこい	敏捷ピンショウな	T
すばり	刺しとげ(木竹片	T
すばり	刺	KT
すばり	木のどげ	A
すべくる	滑る	K
すべくる	こる	C
すぼ	瓶などのかぶせもの	Y
すぼ	苞	S
すぼぬける	席から逃げる、責任のがれ	S
すぼむき	楮の良くない剥き方	I紙漉
すぼをかづける	隠れて外出する	S

サ行

方言	注釈	出典
すぼる	いぶる、くすべる	S
すま、すまのほうに	隅	C
すま一、すまい	するまい、しない	T
すら一な	しなさいます「手伝い位――	E
すら一な	します	E
すりつけぎ	燐寸マッチ	C
すりつけぎ	マッチ	T
すわぶる	しゃぶる	SM
すんど	あまり	M
ずいがわりー	大儀がる	T
ずき	反狂乱、ヒステリー状態	C
ずきなんなや	小言を言わんで置いてくれ	H
ずく	銚」四日鉦、鑄鋼銚鉄(用語	K
ずく	文句を言う	MEA
ずごー	すがめ、やぶにらみ	T
ずつな一	病気で気分が悪い	B
ずつない	病気であることを示す	T
ずつない	具合が悪い	M
ずどん	最も	T
ずば	菜の花	T
ずんど	餘、あんまり	C
ずんどよくない	余り良くない	K
せ	暗礁、	TK
せ	急流	T
せ一	亀の手	T
せ一、せよ	用心せよ	T
せ一や	用心せよ	T
せ一をおとす	生気を落す	S
せああなあ	大丈夫、差し支えない	C
せい	用心せよ	T
せいがええ	力強い	M
せいっばい	勢一っばい、	C
せえ	何々故に	C
せえから	それから	C
せかし一	いそがしい	L
せかしい	セコセコ急し、やかましい	L
せがらかす	からかう	T
せきたん	石油の事	CT
せきだ	下履き草履	E
せく	急ぐ、切迫	CK
せくる	催促する	K
せぐ	おしせばむ	C
せぐ	勢いをつけること、競り合う	K
せごし	背中	M
せせる	苛める	L
せせる	いじめる	K
せせる一しい	うるさい	S
せち	出し惜しみする人	L
せち、せちべん	ボタン	E
せちめん	ボタン	Y
せつき	節季」勘定を締める盆と暮	K
せど	家の中床を張らず地面のまま	L
せど	家のうしろ	E
せど	家の背戸」家等の後、裏側	KY
せなこ一ち	背負いのクッション藁製	S
せなや一	せねばく助詞との連絡	T
せびらかす	からかい半分にだます	V

サ行

方言	注釈	出典
せびらかす	ひとをだます	L
せびらかす	嘘を言って人をだます	I
せびる	欲しい	K
せぶらかす	騙ダメす、欺く、アザムク	TKS
せぶらかす	だます、偽る	I
せぶる	要求	C
せぶる	ねだる	S
せぶる	ほしがる	M
せま一、せまい	為まい	T
せや一な一	世話はしなくてよい、大丈夫	B
せや一ない	大丈夫だ、たやすい	L
せや一ない	世話はかけない、大丈夫	K
せわし一	忙しい	L
せわしい	忙しい	B
せわない	差し支えない	G
せんぐり	じゆんに	S
せんころ	さき頃	M
せんち	大便所	T
せんち	雪隠、廁	C
せんち	雪隠セツチン」便所	SMN
せんち	雪隠、便所	YEL
せんち	便所	EL
せんちんどり	みそさざえ	N
せんにちこぶ	外側のくるぶし	T
せんねん	みそさざい、鶺鴒	T
せんねん、せんねん鳥	みそさざい	O
せんば	稲扱ぎ	T
せんみつ	うそつき、干に三つの意	K
せんみつ	よく嘘をつく人	L
せんみつ	虚言者(干に3しか本が無い	T
ぜぜ一	汚い	T
ぜぜい	汚いく幼児語	E
ぜぜえ	汚い	K
ぜつぺ	大変に	N
ぜに、ぜんぜん	おかね	E
ぜんぜん	銭	N
そ	そのもの、仲間	T
そ一け	ざる、箆	KST
そ一ず	食べ物の残り	S
そ一ず	水車(箱式の旧式)	T
そ一もく	天気模様	S
そ一もく	時候	T
そ一ら	たわし	T
そいだけ一	それだから、其の故	T
そいだけ一て	それだからとて、併し	T
そいつ	それ	T
そいでも	それでも、併し	T
そいなら	そしたら、それなら	MN
そうけ	ざる、籠	C
そうけ	かご	Y
そうけ	ざる	NM
そうけ	口の開いた竹製の容器	K
そうしがみ	漉かえしの紙(重宝記	I
そうず	小規模の水車	M
そうずかす	世話を搔ける	M
そえもの	おかず	YCE
そえもの	副食	B

サ行

方言	注釈	出典
そえもん	お采	N
そが一して	そうして、そして	C
そが一な	その様な	T
そが一な	そんな	S
そがあして	そうして下さい	G
そがあ	そんな	N
そがあなこと	そんなこと	H
そがあに	其の様に	C
そがいに	そのように	K
そがな	そんな	K
そくろう	破れ等繕う	S
そぐる	そろえる	M
そそり	楮芽削った半製品(重宝記)	I
そっち	お宅	K
そっち	お前さん、あなた	S
そっと	少し/そろりと	C
そっと	少し	T
そっぴん	不美人	HA
そとののが	外のが/重複言い方(漱石文)	K福山
そね	山脊	T
そね	峰	K
そね	分水嶺、高くなったところ	OT
そね	尾根	M
そねーに	そのように	K
そねましー	羨ましい	L
そねむ	ねたむ	K
そねむ	羨ましい	L
そばえる	じゃれる	TS
そばえる	ふざける	K
そばえる	戯れる	TC
そばたね	一生結婚せぬ女	B江津
そばやかす	もて遊ぶ	H
そぼくる	失策する	C
そぼくる	遣りやりそこなう	A
そら	あちらの方角、物の上部	K
そら	高いところ	A
それからこんど	話の接続詞	M
それだけー	それだから	K
それべくそうろう	其の儘放っておく意	S
そろそろいきんさい	道行く人へのく挨拶	V
そんぎょー	人相	S
そんとう	その通り	C
そんなら	それなら	CN
ぞびく	引きずる	SK

タ行

方言	注釈	出典
たー、ねこたー	よりは、猫よりは	T
たーこと	ろくでもないこと	S
たーこと	じょうだんの事	L
たーごと	戯言タワゴト	V
たーし	たわし	T
た…かい「たたまげた	おや、まあく感嘆	V
たあーこと	ろくでもない	H
たあごと	でたらめ	L
たいう	神主	M
たいがいに	いい加減に	A
たいがいにせい	好い加減にせんか	H
たいがたあ	耐え難い「恥ずかしい	S
たいがたい	恥ずかしい	MTB
たいがたい	気の毒だ	L
たいがたい	耐え難い	K
たいがたい	恥ずかしい、耐えがたい	L
たいたいーびいびい	さかなく幼児語	E
たいたいびーびー	鯛	K
たいへいらく	我儘で自分勝手な人	L
たいほー	めだか	T
たいほうになれ	大抵にせい	M
たいろー	めだか	T
たいろう	めだか	EN
たい概になりやーがれ	考え直せ	N
たえがたー	恥ずかしい	A
たお	山の鞍部、峠「峠」と同意	I
たお	峠	T
たお	峠「峠」の地方語、分水嶺	O
たかー	高く母音	T
たかたかいび	中指	T
たかなつとる	密集している	B江津
たかぶつくり	高下駄	E
たきつけ	枝つき薪	O
たくなる	ゆるい	A
たくなる	一カ所に寄っている	M
たくなる	ゆるむ、折れ重なる	S
たけすいば・いたどり	虎杖イタドリ、の茎	T
たこー	高く昇った	T
たご	荷い桶、荷桶	CY
たご	担桶	T
たご	おけ	SK
たしかなもん	ささやかなもの	B
たたき	家の中床を張らず地面のまま	L
たたら	方言字「鉦・鐘」踏鞴とも書く	K
ただごめ	糲米	Y
ただもの	ただもうく挨拶の言葉	T
ただもの	毎度、度々	M
たちば	葬式	T那賀
たった	唯	G
たった、いうたった	言うてやった	C
たてすける	立てかける	T
たてる	戸を閉てる、閉じる、	C
たにんごー	谷間	T
たねんな	親切的な	B江津
たのーだ	頼んだ	T
たのき	狸	E
たのし	たにし	E

夕行

方言	注釈	出典
たばこ	休息、ひと休み	CT
たばこにする	休息をする、やすむ	MK
たほ	峠、峠(旧仮名使い)	K
たまがった	「たまげた」の変化した語	K
たまげた	驚きの言葉、驚いた	L
たまげる	魂消た話タマゲタ、驚く	CT
たまげる	驚く、非常に驚く	O
たまげる	驚く	T
たまげる	驚く	ENY
たゆーさん	神主	K
たゆう	神主、神官	CY
たらず	流す	N
たれる	大便を排泄する時	Y
たれるな	言うな	C
たわ	峠	GK
たわん	目的に届かない	K
たを	峠	I
たんころ	疲	YE
たんと	沢山	T
たんびに	其の都度	CA
だーた、だいた	出した	T
だいい	だるい(足等)	T
だいき	梯子	S
だいさん	財産	N
だいしょー	少し、わずか	G
だいそく	薪の束	S
だいそく	松薪	C
だいだ	出した	T
だいだい	夏みかん／正月飾りの蜜柑	K
だいぶ	大分	N
だいめん	大分、かなり	CS
だいめん	可成り	KA
だうま	牝馬	T
だけえ	だから	NK
だしき	座敷	N
だすい	粗末	L
だだものありがとう	度々有難う	C
だちゅーことだ	だということだ	T
だちゅうことだ	休みだという事だ	T
だちんま	駄馬	C
だった、こどもだった	子供であった	T
だったいま	唯今	C
だったろー、何々ー	子供であったろう	T
だったろう	子供であったよう	T
だつろー	子供であったよう	T
だつ	かます	C
だてこき	極端にする男のおしゃれ	Y
だぼ	水溜まり	T
だまし	急に	N
だましに	不意に、突然	TS
だましに	不意に、とんでもない	L
だましに	忽然、俄然	C
だましに	突然、驚かす程に	H
だましに	突然に	MLK
だまに	不意に、突然に	T
だめんだ	駄目だく音韻添加	T
だや	牛舎、馬小屋	S

夕行

方言	注釈	出典
だや	厩	T
だらける	なまける	N
だらしい	だるい	K
だらしい	暑いとき等叶わん時	L
だらす	怠ける	M
だらずな	怠慢タイダな	T
だらずもの	怠けてばかりいる人	L
だらずもの	怠けもの	YK
だります	です、……です	T
だる	垂れる	N
だる	疲れる	K
だんさん	旦那様、地区第一級の名士	IN
だんさん	旦那さん」町内一級の名士	K
だんさん	主人の敬称	TO
だんさん	お金持ちの尊称	L
だんだもんだ	端から段々に	H
だんなさん	主人の呼称	OT
だんびに	其の都度	C
ちーと、ちっと	少し	L
ちーまい	小さい	T
ちいーたー	少い	L
ちいたあ、ちったあ	すこしは、少しばかり	K
ちく	身丈の低いもの	C
ちじゅー	毛がちぢれる様	S
ちそ	紫蘇シソ	C
ちちまめ	乳首	S
ちっくり	ちいさい	N
ちったー	すこしは	S
ちったあ	少しは	M
ちっと	少し	T
ちっと	ちよっと	C
ちとなかい	少しの間	T
ちびっと	少し、少ない事	CL
ちびっとい	少し	T
ちびりちびり	少しあて	Y
ちまあ	小さい	N
ちやいする	捨てる	E
ちやくねる	横取りする	YE
ちやくみ	湯呑	YN
ちやくみ	湯呑茶碗	T
ちやのこ	昼食と夕食の開の食事	T
ちやまぐらかす	ごまかす	T
ちやらん ばらん	ぬらりくらり	S
ちやる	何々てやる	C
ちやん	畏	B
ちやんこする	正座する、ちやんとする、	C
ちやんさい	何々してやりなさい	C
ちやんさい	下さい	T
ちやんばち	鉢、井	T
ちやんばち	井、茶碗鉢	K
ちゅーぎ	藁木、おとし紙モ云ウ	T
ちゅーこといや	ということだ	S
ちゅーに	余程	K
ちゅう、何ちゅう	何々と云う	C
ちゅうぎ	用便に使う木片(転→落し紙)	T
ちゅうぎ	藁木」用便の後尻を拭う木片	S
ちゅうぎ	藁木」用便の道具	I

夕行

方言	注釈	出典
ちゅうらくてん	宙で、支えの無い	C
ちゆくしょう	畜生』人を罵る時使う	I
ちよーしゃーなー	簡単だ(江津)	B
ちよーだら	猫足の付いた洗面だら	B
ちよーだら	洗面器	K
ちよーらかす	あやす、なかなか様だます	K
ちよーらかす	嘲る、アザケル	K
ちよーらかす	からかう、馬鹿にする	S
ちよーらがす	からかう	TH
ちよう たたく	手を叩く	E
ちようず	便所	E
ちようず	手水』大便所	S
ちようたたく	手をたたく	Y
ちようだら	洗面器	EY
ちようらかす	だます	L
ちようらかす	あざけりからかう、嘲弄す	C
ちようらがす	子供など』をあやす	G
ちよこ	虎の巻	K
ちよこちよこ	時々	L
ちよこつと	一寸	T
ちよこつと	ちらりと、少しの間	Y
ちよち	見当ちがい、方向ちがい	A
ちよつこし	少し、暫く	K
ちよつこし	少し	ASN
ちよつこしちよつこり	少時	T
ちよつこり	ちよつと	CMK
ちよつこり	ちよつと	K
ちよつとなかい	少時	C
ちよつびり	すこし	S
ちよつこし	少い事	L
ちよびし、ちよんぼり	極少し	T
ちよびつと	すこし	E
ちよびつと	極僅か、ほんの少し	TK
ちよびり	少し	N
ちよろまかす	ごまかす	C
ちよんぎ一す	きりぎりす	LK
ちよんぎる	切る	S
ちよんびし	ほんの少し	B
ちよんぼし	少し	C
ちりけ	背中	S
ちりはらい	はたき	K
ちんぐう	幼なじみ	A
ちんぐり	背丈が低い意	S
ちんだい	兵隊	T
ちんだい	黒鯛	T
ちんだい	兵士	C
ちんちろりん	こおろぎ	L
ちんば、	跛』揃わないもの	C
ちんば、	びっこ、片足に障害有歩き方	T
ちんびし、ちよんぼし	少し	M
ちんぼ	陰茎	M
ぢやる	何々でやる	C
ぢようせき	たしかな	E
つい	等しい、同じ	TA
ついじ	石垣	M
ついぞ	いっそ、一向に	C
ついだ	同じだ	H

夕行

方言	注釈	出典
つえ	潰』山が崩れる事	K
つえる	潰ツエる』山が崩れる	S
つかえる	胃部の停滞感	T
つがりがない	もろい、粘りがない	S
つがりやーなあ	留めなく	N
つがわるい	便利が悪い	M
つぎ	布切れ	T
つぎ	布片	YC
つくつくぼーし	土筆ノ蟬の一種オウシツク	K
つくなむ	かごむ、しゃがむ	SA
つくなむ	うずくまる	K
つくなむ	腰を下ろす、しゃがみこむ	Y
つくなむ	かがむ事、屈む	MH
つくねる	握り固める	T
つくり、おつくり	刺身	KS
つくろう	衣料の修理	Y
つじ	尖端	S
つじ	上の方	M
つじ	分水嶺、いただき	O
つじ、つじんこ	物の先	K
つじ、つじんこー	山頂	T
つじ、やまのつじ	山頂	KT
つじんこ	頂上、尖端	C
つじんこ、つってんこ	稜線の集まる処、辻、先端	K
つっこかす	突き倒す	C
つってんこ	山の頂、物の先	K
つってんこ	頂上	N
つっぺらーこっぺら	あれやこれや	S
つついっぱい	せいぜいの処	B
つつっぽう	筒	C
つつみ	溜池、堤	T
つづ	唾ツバ	E
つづ	唾ツバ	TYN
つづう、つづ	唾、つばき、唾を吐く	C
つでんこー	山頂	T
つどう	集う』重なる	S
つのぎ	さめ	T
つば、すば	菜の花	T
つばえる	戯れあう、戯れ遊ぶ	SC
つばえる	戯れ騒ぐ	T
つばえる	騒ぐ	EM
つばえる	ふざける、燥はしゃぐ	KA
つばえる	さわぐ	IYN
つばくろ	燕	TL
つばのこ・つば・ずば	菜の花	T
つぶる	閉じる	N
つべこべ	あれや是れや	S
つぼまり	墓の穴堀り	S
つまご	雪覆	T
つまご	草鞋の鼻掛け	M
つまらん	粗末な	B
つまらん	役に立たない	S
つまり	結局、つまるどころ	L
つめたあ	冷たい	I
つめて	引き続いて	T
つめる	つねる	Y
つやける	つぶれる	S

タ行

方言	注釈	出典
つらっこーな	あつかましい	HS
つらっこーな	厚かましい、図々しい	K
つらっこうな	面が強い	C
つり	癩癩	T
つりよーて	連れあって	T
つりようて	つれあって、連れて	C
つる	血筋	M
つるい	井戸	TYN
つるい	井戸、深い竖井戸	M
つるゐ	井の事、釣瓶井	C
つろーうて	仲間に入れる、連れになる	L
つろーて	連れ合って	T
つろーて	連れて」一緒に	SK
つろうて	連れ立って	Y
つんからきりまで	端から端迄	C
つんぐい	根木打ち	T
づんぼ	鬻ツンボ	C
ていしゅやく	宴会の進行係	B
てかけ	妾	T
てがましい	何でも手を出し落ち付かない	S
てぐ	打つ	A
てこにあわぬ	手に負わぬ	KY
てこにあわん	てこずる	A
てご	手伝い	TN
てご	手伝い	CKS
てご	農村の作業で他の手を借りる	L
てご	手伝い人	T
てごーする	仕事を手伝う	K
てごにおえん	いたずら計りする子供	L
てごをする	手伝い	A
てごをする	手伝いをする	YMK
てごんならん	手伝にならない	K
てしごにおえん	手におえない	S
てしよー	小皿	ET
てしよー	小皿	BA
てしよー	皿	MS
てしよーさら	小皿、手塩皿	C
てったあもったー	てつらもつら、愚図な	C
てっぺん	分水嶺、一番高いところ	O
てっぺん	天辺、頂上	N
てっぼうそで	筒袖	YT
てつら もつら	らちのあかない事	S
てつけ	手つけ桶、握り手のある桶	C
てつらもつら	はっきりせぬ事	YA
てにあわん	手におえぬ、狡猾コウカツな	T
てにあわん	手に合わない」出来ない	S
てねかえる	やりかえる	S
てねる	束ねる	YMT
てねる	結ぶ	CS
てのごい	手拭	YN
てびらじゃく	人に物を与えるのが好き	B
てぶろしき	小さい風呂敷	B
てべす	打擲する	O
てべす	叩く、なぐる	CS
てぼ	ざる、かご	S
てまがえ	手間替え」労働交換	ST
てまがえ、いー	労働交換	T

タ行

方言	注釈	出典
てまる	まり	YE
てむく	茶碗(陶製)	K
てむく	茶碗、椀、天目	M
ても、あしもでん	どうにもこうにもならぬ	Y
てや「中々やるてや	うなずいて感心する	V
てれえぐれえ	あれこれ	M
てれんぼれん	掴みどころがない	S
てをやいた	全く困った	Y
てんぎりやみ	急病	B江津
てんく	茶碗	T
てんくら	よく嘘をつく人、でたらめ	L
てんくら	おてんば	K
てんくらいう	嘘を言う事	C
てんぐるま	幼児等両股を首にまたがす	C
てんぐるま	肩車	KT
てんこつじ	天コ辻」頂上	C
てんこもり	飯など一山盛り	K
てんご	いたずら計りする子供	L
てんごーする	悪戯する、いたずら	LK
てんごうをやく	世話をやく	M
てんで	全く「一取り合わない」	C
てんでに	各々、手にてに	C
てんと一さま	太陽	T
てんば	女子が男勝りの事をする	Y
てんば	いたずら、子供に使う	L
てんば	活発でよく動き回る女の子	L
てんびんぼう	天秤棒、両端に荷物下げる棒	L
てんぼー	うそつき、ほらの意、天保銭	K
てんぼー	でたらめ、信用のない銭	L
てんぼーせん	天保銭」よく嘘をつく人	L
てんぼーせん	間抜けで信用出来ない時	L
てんぼうせん	天保銭八文」頭が鈍い事	S
てんぼうせん	相手を侮辱した語	Y
ていえ	分家	T
てかい	非常に大きい	T
てき	男く罵り語	T
てき	男の子	STM
てき、てきぞう	男の子	Y
てきぞう、てき	男の子	E
てこ	手伝い	C
てこ	絵	T
てこ	人形	S
てござんす、だります	です(肯定)	T
てしゃばる	出さばる、差し出がましい	CY
てぞざんす	です、……です	T
てっち	子供	T
てっちこさー	男の子	B
てな一「何々でな一	何々でない	E
てび	額、おでこの出ている事	C
てびちん	額の大きい	S
てぶ	太い事	C
てぼ	空振り	A
てぼ	駄目	K
てんでん、でに	銭	N
てんでんむし	蝸牛カタツムリ	TK
と 不要	トが不要か、	T
とーから	以前から「一知っていた	I

夕行

方言	注釈	出典
とーがき	無花果	TS
とーし	通し]飾い フルイ	TS
とーじん	馬鹿な事、ピント外れな人	L
とーじん	間抜けで返答がピント外れな	L
とーじん	訳の分からぬ言葉	T
とーとー	結局ー、遂に何々した	L
とーへんぼく	唐変木]まぬけ(罵り語)	L
とーへんぼく	馬鹿らしいことをする人	K
とい	早い	M
といしる	つぶやく	M
とう	とどく、たう	T
とうから	早くから	M
とうがき	無花果イチジク	ENA
とうがき	いちじく	MY
とうがき	無花果	Y
とうがき	無花果	G
とうきび	玉蜀黍、とうもろこし	EC
とうしに	通しに、続けて	C
とうしみ	灯しん	Y
とうじん	訳の分からない事を云う人	K
とうじんをいう	馬鹿げたことを言う	Y
とうじんをいうな	唐人]詰らぬことを言うな	M
とうす	糊すり臼	Y
とうた、とわん	届いた、達しない	M
とうに	ずっと前に	S
とうのむかし	先に、大分以前	N
とうへんぼく	変わった人	Y
とえる	牛のなくこと	T
とがあな	いかが	C
とぎ	伽]つれ、道ずれ	S
とぎ	友達	T
とぎになる	仲間に入れる、話相手になる	L
とこ	紙干し等に使う台板(重宝記)	I
とこや	床屋]美容院、理髪店	K
ところてんばな	川原なでしこ	B
とだい	てんで、土台からの意	C
とだいこだい	如何様にも	C
とちめんぼうふる	狼狽、うろたえる	C
とちめんぼうをふる	あわてる	Y
とっさん、とつつあん	お父さん	C
とつつあん	父の呼称	T
とつても	とても	C
とつてもない	減多にない	N
とつとき	大切なもの	T
とつとく	仕舞っておく	K
とつびよーしもな一	とんでもない	L
とつぼど	非常に	O
とつつもない	とんでもない	L
とつつもない	予想外	K
ととう	父さん(重宝記)	IK
ととろかん	聞いてくれない、轟かない]	S
ととろかん	物事に頓着しない	BM
とび	贈り物の時すぐする返し	L
とび	返礼の品	M
とび	贈り物のお返し	S
とび	伽と同意力	I
とび、うつり	土産の移り	T

夕行

方言	注釈	出典
とふす	灯す<子音転換>	T
とぼうずをいう	冗談の意、詰まらぬ事を言う	M
とぼける	ほうける	T
とめる	うめる、いける	S
とりあげばーさん	産婆	T
とりのす	おいこ	E
とりゃあがった	とつた	Y
とる、ーとる	乾いて)ーて居る	T
とる、いっとる	行っておる	T
とろー	取ろう	T
とろい	動作のにぶい事	Y
とろい	鈍い	S
とをたてる	戸を閉める	H
とんがらし	唐辛子	OC
とんけつ	愚な者を罵る時使う	C
とんけつ	馬鹿	N
とんどる	とんでいる	C
とんのす	背負いかご	A
とんび	二重廻し、和服のコート	K
とんび	鷲トビ]	K
どー	馬の操作語、静止	T
どーじ	度胸	B
どーじがわりー	臆病な	T
どーじま	表付き下駄	T
どーずく	打擲する	O
どーずく、どやす	殴る	K
どーの こーな一	どうにかこうにか	S
どーずく、どずく	叩く	C
どうきん	雑巾	N
どうこ	銅のつぼ	Y
どうじま	堂島大阪]表付き草履の事	M
どうずく	叩く	E
どうづく	強く叩く、打ち叩く	YC
どうまる	袖無し	C
どうり	草履	N
どか	大変	N
どかす	置いてある物を取り除く	Y
どかに	非常に	T
どかに	大層	M
どが一	どうか	S
どが一しても	無理遣りに、どんなにかして	L
どが一しんさった	どうしました	Y
どが一でも	どうしても	Y
どが一でも	必ず、どんなにでも	L
どが一でも	是非	T
どが一な	どの様な	T
どがあ一	どんな	N
どがあ一かして	どうにかして	K
どがあ	形容的な内容をもつーな事	I
どがあこがあ	どうにかこうにか	I
どがあな	如何	A
どがあなかな	どうですか	H
どがい、どがいに	どんな	K
どがいに出来た	やっと、何とか出来上がった	L
どがな、どがあな	どんなであろう(重宝記)	I
どがなことじゃ	どんなことなのか	K
どがに	非常に	O

タ行

方言	注釈	出典
どけ	去れ(命令)	N
どける	のぞく	S
どこた一なあ	何処もかしこ、何処と限らず	M
どさりくさり	とうやらこうやら(一暮す)	K
どしなる	騒ぐ、サワグ	MNH
どしなる	大騒ぎ	S
どしなる	さわぐ	Y
どだい	根っから、全く、元来	M
どだい	案外	K
どだい	まったく	S
どだい	大変	N
どだい、どだいこだい	全然、全部	L
どっせい	ざまくな	M
どづく	打つ	S
どど、どどくり	吃音、どもり、	T
どどくり	吃り、吃音者	CE
どどをくる	吃音、どもる	T
どどをくる	吃ること	M
どなる	大声で怒鳴る	C
どひょーうしもなあ	とんでもない	S
どひょーし	大変	B
どひょーし	非常なこと、非常な	KO
どひょーしもなあー	とんでもない	H
どひょーしもない	とんでもない	K
どひょうし	甚だの意	K
どひょうしもない	とんでもない	L
どひょうしもなあ	とんでも無い事	MN
どひょうしもなあ	度拍子』銅拍子	C
どひょうしもない	とてつもない	AI
どひょうしもの	とんでもない事する(重宝記)	I
どひょうしもの	度がはずれている事する者	K
どひん	土瓶ドビン	N
どびんご	赤子	N
どぶ	家の排水	L
どぶづけ	糠漬け	T
どべ	泥	M
どべ	最下位	N
どべ	席次の最後	T
どべ・どべっちょ	しんがり	S
どべ・どつ	席次の最後、びり	T
どべちゃ	ぬかるみ、泥濘	K
どべっちゃ	最終者	C
どま	曲がり角	M
どやしあげる	打擲する	O
どやす	ひどく叩く	S
どやす	打擲する	OT
どやす	叩く	C
どらむすこ	遊びふける品行の悪い人	L
どろおとし	田植え後の休養	KT
どろおとし	田植えが終わってする行事	L
どんかめ	石亀	K
どんぎゆう	どじょう	N
どんぎる	とんがる	C
どんぐるす	粗く織った麻袋	K
どんけつ	最後尾	S
どんけつ	最後の人	C
どんこ	袖なし	YTE

タ行

方言	注釈	出典
どんこ	袖無し	S
どんじり	最終者	C
どんたく	鳥打ち帽子	T
どんでんがえし	逆さまになる事	L
どんびき	ひき蛙、蝦蟇	ST
どんぶん	存分	N

ナ行

方言	注釈	出典
な、な一	ね、ね一く念を押す意味の辞	T
な一とる	泣いている	C
な一ようにする	失う、なくす、すてる	T
な一よんなる	無くなる	B
なあか「何でなあか	何で無いから	E
なあとる	泣いている	C
ない、何々しない	何々しなさい、命令語	C
なおす	品を元へ納める	K
なおす	整理す、片付ける、元に納る	K
なおる	怠ける	K
なかたかゆび	中指	K
なかま	共有	S
なかんこうに	泣かないで、泣かずに	C
ながしい	長い	G
ながしば	台所、流しの有るところ	L
ながしゆ一	長く、長らく	ST
ながまる	横になる	HS
ながらおとこ	男子十六歳になると半人前	S
なきべそ	しくしく泣く顔の様子	L
なきやあ、なきや一	泣けば	C
なして	何故	TAK
なして	どうして	M
なして	なぜ、何故	EC
なしてくれ	返してくれ	H
なしても	必ず、どうしても意	L
なしても	でも	N
なしてや	何故	N
なしんさい	返しなさい	B
なす	返す	EYA
なす	返す	K
なす	返済する	T
なすび	茄子ナス	E
なすび	茄子	TCY
なせる	撫でる	Y
なつまめ	空豆、蚕豆	EYK
なつまめ	夏豆「そら豆、蚕豆	C
なつまめ	蠶豆	T
ななつえれこ	餅や赤飯を入れて配る箱	B
なにかな	何ですか	E
なはる	なさる	C
なまいた	俎板マナイタ	C
なまくらもの	遊びふける品行の悪い人	L
なめくじら	蛞蝓ナメクジ	B
なやむ	いじる	SKT
なやむ	かまう、いじる	M
なやむ	弄ぶ、もてあそぶ	K
ならかみ	雷	I下府
ならずわかれ	夫側の不都合で離婚する事	B
ならんじょう	つらら	C
なり、なりんぼ	癩病	G
なりかみ	雷	T
なりんぼ一	癩病	T
なるかみ	雷	EST
なるかみ	雷、鳴る神	C
なるてん	南天	M
なんぎな	苦しい	T
なんじよ	つらら	T

ナ行

方言	注釈	出典
なんじよ一	つらら	OTB
なんじょう	つらら	MCI
なんぞ	なにか	S
なんぞかんぞ	いろいろ或るとき使う	L
なんだい	何で、何であるか	C
なんちゆ一ても	何というても	SH
なんちゆう一ても	何と言つても	N
なんぼ	何程	C
なんぼ一	幾ら	KST
なんぼう	いくら	NM
なんぼかな	いくらですか	H
なんまんきび	玉蜀黍トウモロコシ	NAY
なんまんきび	南蛮黍「玉蜀黍とうもろこし	CKT
なんりよ一	つらら	OT
なんりょう	つらら	EKN
に一な	新しい	LK
に一な一	新しい	T
にい一	兄	Y
にい一	兄さん	E
にいな	新しい	S
にいにい	兄	N
にかお	荷を負う綱	T
にがぐち	悪口	S
にがる	腹が痛む	BC
にがる	痛い時の言葉	L
にがる、はらがにがる	腹が痛む	HMS
にぎり	出し惜しみする人	L
にぎり	御飯をにぎって固めた食物	L
にぎり	良くない人	Y
にぎり、にんぎり	欲なこと	M
にくらしい	にくい、憎らしい	NT
にくる	荷物を順ぐりに送る事	M
にくる	順繰りに運ぶ方法	S
にしくる	にしりつける	S
にしくる	人に罪を負わせる	A
にしぐる	なすり付ける	M
にしじれる	煮えつまる	S
にしる、にしくる	すり付ける	Y
にや一「せにや一	ねば、しなれば	V
にやがる	大いに騒ぐ	T
にやす	殴る	K
にやす	叩く	CT
にやす、ぶちにやす	打擲する	O
によ一ぼ	女	K
によらいさま	仏様	Y
にわ	家の中床を張らず地面のまま	L
にわ	土間	T
にんぎり	よくなこと	M
にんぎりこ	握りこぶし	C
にんずう	仲間	S
ぬかす	言う、何を叶かすか	NS
ぬくい	暖かい、あったかい	TIK
ぬけさく	間抜け	LS
ぬしと	ぬすびと	C
ぬすと	ぬすびと	T
ぬりくたる	ごてごてと塗りまわす	S
ぬりこむ	潜り込む	N

ナ行

方言	注釈	出典
ぬわする・ぬわせる	縫わせる	T
ぬわせん、ぬわさん	縫いはしない	T
ねあずり	寝あずり	T
ねえー	姉さん	EY
ねえーねえー	姉さん、若い女の人	K
ねえ	姉	C
ねえねえ	姉	N
ねかくー	全く(江津)	B江津
ねかくい	全然	MN
ねがせん	安い	B江津
ねき	近い所	C
ねき	側、そば	SNA
ねくいかくい	ねっから	C
ねこ	ねこ車、一輪車	K
ねこ	児安貝、寶貝	C
ねこそぎ	根刮ぎ	C
ねこわけ	少量の食事でも食べ残す事	B
ねごー	訴える	B
ねつい	念をいれる	S
ねつい	丁寧	KH
ねつうする	大切にする	N
ねつうに	丁寧に	AC
ねと	根元	MS
ねはんじーまいる	眠る	B江津
ねば	真綿	S
ねばる	頑張る	Y
ねぶか	葱	CTY
ねぶか	葱ネギ	EK
ねぶる	「手を舐るネブル」	C
ねぶる	嘗める、なめる	KEM
ねぶる	舌で物をなめる	Y
ねぶる	舐る、なめる	NE
ねらむ	覗むく母音	T
ねらむ	にらむ	YNE
ねる	お産をする	T
ねんじゅー	年中、常に	T
ねんじゅう	年中』いつでも(期間が長く	L
ねんぶん	年中	CS
ねんぶん	年分、常に	T
のー	ねえ、目下へ念を押す辞	T
のーなる	なくなる、失う	T
のーぬけ	馬鹿者	T
のう、……のう	ねえ	E
のう「だめんだのう	共感をよぶ、念を押す)	V
のうぬけ	のう無し	M
のこいて	残して	T
のす	上にあげる、二階に揚げる	K
のすけてやんさい	取って下さい	M
のすける	差し出す	STC
のすける	渡す、物を渡す	BA
のずく	覗く	N
のっかけ	最初	S
のどぐる	赤むつく魚名	A
のどしめ	ジフテリー	T
のどり	理解、考え	S
ののこ	綿衣、ぬのこ	C
ののさん	お月様	T

ナ行

方言	注釈	出典
ののさん	仏様の幼児語	CT
のふーぞーな	図々しい	K
のふーぞう	生意気な事	L
のふーど、のふーぞー	無頓着、気にかけない	S
のふーどー	野放図、不作法	K
のふーどう	横着な事-様、大胆、無作法	K
のふうぞう	不注意、不取り合い	C
のふうぞう	取りあわない/失礼	M
のふうぞう	ふしだら	N
のふうどう	横柄なオウヘイな	A
のふうどう、	野放図」ふしだら	N
のべおくり	葬式	L
のべる	薄くする	S
のぼりたおし、	祭の翌日	T
のら の せつく働き	何時もは怠け節句には働く人	L
のりつけほーそ	ふくろう	S
のる	仰ぎむく	C
のる	腰をのばす、伸る反る」	S

八行

方言	注釈	出典
は一	もう	S
は一	肯定の返辞	O
は一、は一おわた	も一終わった	L
は一から	予期より早く	K
はあ	早い	C
はあ	もう	E
はあ一	早く、もう	T
はあ一みてた	もう なくなった	H
はい	蠅	EC
はいつくばう	這う	K
はいふり	ノーパンティ	B
はえ	南の風の事、主に西日本で使う	H
はえる	器を傾けて水を注ぐ	S
はえる	(お茶)入れる	A
はえる、ちやをはえる	入れる、茶を入れる	H
はがいい	歯痒い』口惜しい	N
はがいい	じれったい	AT
はがま	釜	Y
はがま	釜	ETS
はげちやびん	はげ頭	K
はさがる	物がはさまる事	S
はさげる	挟む	K
はさげる	さしこむ	S
はしかいい	利口だ、ずるいこと	L
はしかいい	小利口で抜け目のない、敏捷	SK
はしかいい	痛いかゆい時使う	S
はしから	片端から	T
はしま、はすま	間食	NT
はしり	流しもと	E
はしり	流し	YT
はしり	炊事場の流し	C
はしりぶね	流し台	B
はしる	ひどく痛む状態	SY
はしる	しみる様に痛む	H
はしる	痛い言葉、じっくり痛い時	L
はしる	痛い	INK
はしる	痛む、(歯傷など)	MCT
はじき	釣竿	C
はじき	釣竿	TYM
はすま	おやつ	E
はすま	農村で昼の合間に食べる間食	L
はすま	間食、おやつ	C
はすま	午後の間食	B
はすま	間食、食事と食事の間	SKN
はすま、はしま	昼食と夕食との間の食事	T
はすや	包丁で物を切る事	S
はずんで	うきうきと	B
はせる	間に物を挟む	K
はぜ	稲をかけ乾かす木組	L
はだかんばら	裸体	T
はだかんぼ一	裸体	T
はだけ	裸<母音	T
はだけ	裸体	Y
はだけんばら	裸になる事	KS
はだしばし	素足	S
はちもん	うすのろい	S
はつくしょう	くしゃみ	Y

八行

方言	注釈	出典
はつくしょん	くしゃみ	N
はつく	繁盛する、盛んになる	K
はつめ一な	器用	K
はつめ一な	勤勉な	K
はつめいな	仕事をよくする	M
はつめいな	利口だ	L
はつめいなひと	真面目によく働く	Y
はで	稲架け	T
はで	稲をかけ乾かす木組	L
はなえる	物事を始める	Y
はなえる	はじめる	CT
はなえる	準備する	K
はなえる	始める	HMA
はなぐり	牛の鼻輪、牛の鼻に通す輪	ST
はなぐりいし	船を繋留する岩(人工で加工)	I
はなじゃ	花だ	T
はなはじきもせん	相手にしない	B
はなはる	始めを砕く	C
はなわり	始め	T
はなわる、はなえる	始める	K
はなんこ	尖端	C
はねまくる	転ぶ	O
はばしい	はげしい、荒々しい	SK
はぶ	歯ぐき	YCE
はぶてる	すねる	YEA
はぶてる	ふくれ面をする、反抗する	S
はぶてる	腹をたてる	C
はぶてる	腹を立て不機嫌	M
はぶてる	ふてくさる、すねる	I
はぶてる	拗ねる、怒りっぽい時	K
はまち	鯰の4~50cmのもの	K
はまる	落ちこむ	SK
はみ	まむしの古名	M
はみ	蟻 マムシ	TSA
はや一	早い	T
はやす	きざむ、包丁でハヤス	H
はやす	野菜等小さく切る	Y
はやす	少刻	C
はらがにがる	腹痛(烈痛)	T
はらがほそい	ひもじい	T
はらをかく	腹を立てる	S
はらをこく	立腹する	T
はりまあしちやる	殴ってやる	C
はりまあす	なぐってやる	Y
はる	叩く(頬など)	T
はる	打ち叩く	C
はろ一た	払った	T
はんぎり	浅い桶、半きり桶	YC
はんげ	夕方	T
はんこ	印鑑、判子』	C
はんざき	山椒魚サンショウウオ	K
はんとん	不十分、不足	S
はんど	かめ	ATS
はんど	水甕	M
はんど一	甕	T
はんどう	水甕	ECM
はんどう	水かめ	YN

八行

方言	注釈	出典
はんどう	口が広い陶器のカメ	KS
はんどう	飯脰「唐物茶入れ、禪院で使う	K
はんな	なさるな	C
はんば	開墾し残したところ	T
はんぼ	飯櫃	E
はんぼー	飯櫃、おひつ	T
はんぼう	おひつ	S
はんぼう	飯櫃	MCN
はんぼう	飯びつ	Y
ばかたれ	馬鹿なこと(罵語)間抜け	L
ばかに「パネがばかに	機能を失ったパネ	K
ばくだい	沢山に	G
ばくだいもなあー	莫大もない「大変	N
ばさら	沢山	N
ばっそ	子孫(江津)	B
ばっぼ	着物<幼児語	O
ばっぼ	衣服(幼児語)	T
ばば	台所(江津)	B
ばばいー	まばゆい	H
ばばいい	眩しい	T
ばばいい	目映い<子音転換>まばいい	TNY
ばばちい	不潔だ	L
ばらい	魚籠	TK
ばる	小便などをする状態	S
ばんげ	夕方	Y
ばんじろ	小鯛	E
ばんじろ	はだい	Y
ばんぞー	売買の仲介をする	B江津
ばんぞう	とりもつ	M
ぱっち	ズボンの一種	Y
ぱっちん	面子メンコ、子供の遊び	K
ぱっば	煙草(童語)	Y
ぱつち	ずぼん	E
ぱんぱん	戦後の売春婦、共通隠語	K
ひーなこ	羽子	T
ひーなさん	お雛様、節句の人形、土人形	K
ひーらかす	乾かす	K
ひーりこ	羽子	T
ひーる	荷札	T
ひいりすぼ	ふくらはぎ	TA
ひいる	蛭ヒル	C
ひかっこー	手燭	T
ひかる	叱る	T
ひかんばち	干あがったもの	C
ひがら	斜視、やぶにらみ	T
ひがんばん	まんじゅしゃげ	TL
ひがんばんーず	土筆、つくし	T
ひき	ひき蛙	SC
ひきあげばーさん	産婆	T
ひきずり	血統	B
ひご	牛の飼料とする藁	Y
ひさし	軒	Y
ひざーくずす	おぐらをかき	B
ひざぼうず	膝ヒザ	EY
ひしね	疣イボ(ワルチュ)	TB
ひしゃぐ	つぶす	K
ひしゃげる	潰れる	K

八行

方言	注釈	出典
ひたき	肥料	T
ひだりぎつちよ	左手がきき手の人、左利き	CT
ひだるい	ひもじい	S
ひだるい	腹がへった時	K
ひちめんどうくさい	手間がかかる	S
ひっくりかえす	裏返す	L
ひっしもっし	一生懸命する時の形容	L
ひつつかまえる	捕らえる	Y
ひつこいい	くどい	Y
ひてー	一日中	K
ひてー	一日	YET
ひてー	一日	S
ひてーじゅー	一日中	HLB
ひてる	失う、なくす、すてる	T
ひてる、してる	失う、なくす、すてる	T
ひとよーさ	一夜	S
ひどい	恐ろしい	N
ひどひら	崖	G
ひなか	一日中の事	L
ひのはら	祭の当日	TB
ひぼ	紐の事	Y
ひやくにちこぶ	内側のくるぶし	T
ひやくこる	叫ぶ(や=拗音、上ゲ発音)	K
ひやくこる	叫ぶ	N
ひやくかん	もみあげ	T
ひやい	冷たい	K
ひやくこってみないや	大きな声で呼んでみなさい	H
ひやくこる	遠方を声を掛けて呼ぶ	T
ひやくこる	呼ぶ	YE
ひやくこる	叫ぶ	KCM
ひやくこる	大声で呼ぶ	SH
ひやくこる	遠くの人を大声で呼ぶ	A
ひやくこれ	呼び叫ぶ	K紙漉
ひやめしきい	次男以下をさす	S
ひやり	田に湧き出る冷水	B
ひよーげじー	大神楽の脇役、道化役	T
ひよーげる	ふざける、おどける	KS
ひよーげる	おどける	T
ひょうきんもの	面白いじょうだんの多い人	L
ひょうげる	面白いことをする	L
ひょうげる	風変わりで奇抜	K
ひょうげる	おどける	Y
ひょうげる	冗談を言って人を笑わせる	M
ひょうしあげる	おだてる、ひやかす	S
ひよこつと	突然に現れる時使う	L
ひよっくり	しゃっくり	YN
ひよっこり	急に現れる	Y
ひよんな	へんな	K
ひよんなこと	変な事	V
ひょうこのかわ	うかつに(江津)	B
ひよひよ	乳児の頭頂部の鼓動で動く部分	T
ひよひよ、おどり	ひよめき、嬰兒の前頂郎	T
ひらぐき	白菜	E
ひらち	やたらに(江津)	B
ひりあたり	まぐれ当たり	B
ひる	排泄	C
ひる	大便を排泄する時	Y

八行

方言	注釈	出典
ひる	乾く	H
ひるのつじ	真昼	B
ひれつ	喰い意地が悪い	M
ひろー	広くなった、広く	T
ひろひろしとる	物欲しい、腹がへって---	H
ひろみがお	泣き出しそうな顔つき	T
ひんごて	ひごと、毎日	TE
ひんじょう	進上しよう	I
ひんじょうをいう	文句を言う	M
びーどろ	硝子	T
びーびー	魚	A
びいどろ	硝子細工	C
びいびい	魚く幼児語	NC
びく	竹籠、魚かご	YM
びく	手籠、腰に下げる籠	C
びく	比丘尼、女子を卑しめる語	C
びく	女の児	TB
びく	女	N
びく、びち	女の子	EY
びっくり	驚く	N
びっくりする	吃驚する」驚く	O
びっしり	常に	T
びっしり	度々、常時	I
びっしり	何時も何時も	Y
びっしり	常に、たえず、一ぱい	S
びっしり	いつも	M
びっしり	終始、始終	NB
びっしり	いつも、隙間のない	ECM
びったら	だらしない	L
びったら	不衛生なのを平気でいる人	K
びったり	全部、いつも	C
びったり	泣き虫、だらしない	N
びったり	だらしない事	KL
びったれ	不潔にしている事	L
びったれ	だらしが無い	S
びったれ	不潔に頓着せぬ女	T
びったれ	汚い	M
びゃこる	大声で叫ぶ	C
びょうげる	おどける	C
びらかす	泣かす	Y
びり	席次の最後	T
びり	しまい	S
びり	一寸した事ですぐ泣く子供	L
びりっこ	しまい	E
びる	泣く	SYC
びる	子供が泣く	TK
びる	泣く	NTO
びる、びり	しくしく泣く様子	L
びをかす	なかす	E
びんすず	びん	N
びんた	頬 ホホ	KN
びんたー、びんちゃー	頬ホホ	S
びんちゃ、びんた	横髪の手、横びんを叩く	C
びんちゃ、よこー	横びん	E
びんびんかいご	肩車	M
びんびんこ	肩車	ATK
びんびんこ	肩くるま	S

八行

方言	注釈	出典
びんぼーくさい	粗末な事	L
ふ、ふがええ	運、運がよい	T
ふーがわりー	体裁が悪い	K
ふーがわりい	運が悪い、ついていない	K
ふーがわるい	格好が悪い、はずかしい	L
ふいきん	布巾、炊事場の布	C
ふいだけ	火吹き竹	T
ふえっこお	魚	M
ふく	河豚、ふぐく濁らずに言う	GK
ふく	牛蒡大根等を小さく削る事	S
ふくちゃん	顔の丸い者、お多福	C
ふくれる	腹をたてる	C
ふくろべ	衣類のほころび	S
ふさる	ねる	S
ふざる	持ちたれる程(重宝記)	I
ふずくる	強いる、強制する/騙す	M
ふてる	すねる	V
ふてる	不満でふくれる	S
ふてる	不貞る、節操をなくす	C
ふみつぎ	踏み台	T
ふやぐ	乾く	T
ふりよーる、ふりよる	降りつつある	T
ふるしき	風呂敷の訛り	N
ふん	肯定の返辞	O
ぶえん	なまの魚	S
ぶきさん	仏飯をいれる仏具	B
ぶくり	木履」足駄	NTO
ぶくり	木履げた	S
ぶくり	高下駄	EAY
ぶちまわす	打擲する	O
ぶっさく	たたく、打擲する	TN
ぶっさく	きつく叩く	C
ぶっさく	殴る	B
ぶっさく	打ちたたく	Y
ぶり	不機嫌、そっぽを向く	K
ぶりつり	他人の意に嫌悪する	K
ぶりをつる	拗ねる	YKA
ぶりをつる	不機嫌	MK
ぶりをつる	腹を立てすねる	S
ぶりをつる	立腹する	T
ぶりをつる	立腹脚を釣と腹縞が縦になる	C
ぶりをつる	怒って機嫌の悪い様	I
ぶる	偉そうにする	N
へー	はい	E
へー、へい	肯定の返辞	O
へーせらもん	降参	B江津
へーと	めったに	T
へいおい	へい	N
へいとう	滅多に	MN
へえたい	兵隊	C
へえと	めったに	C
へえ	返事	C
へえー、へい	はい	Y
へえーと	滅多に	N
へえーとをなー	又とない	K
へえおい	へい覆い」塀	C
へえとう	滅多に	S

八行

方言	注釈	出典
へか	すきやき	S
へかやき	すき焼き	T
へきれき	霹靂『霹靂神社、稲妻	K
へぐ	剥ぎ取る	M
へぐ	剥ぐ事	C
へぐ	剥はぐ』削ぐ	SNT
へぐ	剥ぐ、皮をへぐ』	H
へげる	剥がれる	K
へげる	はげる	M
へこ	女の腰巻き	Y
へこ	兵児帯へこおび、禪	C
へこ	禪(男子用/同(女子用	T
へこきむし	カメ虫	K
へこたれる	閉口たれ』辛抱できなくなる	C
へこむ	くぼむ、凹状になる事	K
へごむ	凹、つぶれる	C
へざ	膝ヒザ	ECY
へずる	削る、減らす	K
へずる	剥るへズル』減らす	S
へそくり	臍線』こっそり貯めた金	L
へたばる	へこたれる	Y
へたれこむ	ひどくたびれる	S
へったり	全部	C
へばる	力む	S
へぼ	くず、出来損ない	H
へや	分家	YST
へや	分家	E
へらへーと	減多に、たやすく	L
へらへーと	むやみやたらと、無間に	HSK
へらへーとー	むやみやたらと	A
へらへえと	稀に、減多に、普通でない	C
へらへえとう	めったに、普通には	C
へらへえとう	減多に	I
へり	側、へりで見ている	H
へんから、何々ー	それから	K
へんげる	かわる、変化する	S
へんじょーこんごー	遍照金剛』あれやこれやと	S
へんじょーこんごー	訳が分からない	H
へんじょーこんごー	難しい事ばかりで分からない	K
へんじょーこんごう	くどくど云う	A
へんじょーこんごういう	苦情、遍照金剛言う	K
べこ	子牛	T
べこ、べこのこ	牛の子	G
べさら、べつさり	沢山	N
べそかき	一寸した事ですぐ泣く子供	L
べたれ	ぼたん雪	B
べたれ	綿雪	T
べったり	沢山	N
べったり	全部	C
べっとー	別当』下男、下卒	B
べっぴん	美人	H
べつち	ボタン	E
べにさしゆび	薬指	K
べべ	小児の着物く幼児語	IO
べべ	女の性器	M
べろ	舌	EKT
べろ	舌	CSY

八行

方言	注釈	出典
べんちゃ、べんちゃら	おべっかく嘲笑語	C
べんちゃをはる	頬をたたく	YE
ほーいんさん	寺にいて仏事を司る人	L
ほーけ	間抜けな様	L
ほーしんつく	ひぐらし、つくつくほーし	E
ほーたー	頬	S
ほーたらまい	衣服のだらしない事	L
ほーたらまえ	乱れ姿、着物の前の揃わない	T
ほーたれ	着物の前が乱れる姿	T
ほーたれまえ	着物の前が乱れる様	ST
ほーたれもの	遊びふける品行の悪い人	L
ほーとーもの	遊びふける品行の悪い人	L
ほーとらまえ	帯が緩んで前身が揃わない姿	T
ほーはれ	耳下線炎	T
ほーろく	焙烙ホウロク』素焼き煎り器	S
ほいちよー	包丁	T
ほいと	乞食	YTC
ほいと	金や物を恵んで貰い生活す	LM
ほいとー	麦粒腫	B
ほいとー、ほいと	乞食	S
ほいとう	乞食	M
ほいろ	焙烙』火鉢乾燥さす道具紙製	K
ほうら	それ、注意を示す時	C
ほう・ほー	這う	T
ほうぐ	紙屑、不要な物	SK
ほうぐ	反古	Y
ほうせ	湿疹の一種	Y
ほうち	包丁	EY
ほうちやく	逢着』傷等が悪化する	S
ほうちやくう	疵が悪化する	Y
ほうる	投げる	Y
ほえずら	泣き顔	K
ほえずらかく	激しく泣いた顔	L
ほえる、ほえずる	大声で激しく泣く様子	L
ほえる、ほえるな	泣く	O
ほかす	捨てる	K
ほがっぱち	短気者	Y
ほぐくし	足	E
ほけ	咆気	C
ほけり	ささら、竹製洗い器	T
ほけり	簞ささら	C
ほげる	はがれる、欠ける	S
ほしい	おいしい	G
ほしか	干鯛』鯛の干した物	K
ほすま・はしま	間食、昼・夕の間の食事	T
ほぜくる	ほじくる	Y
ほぜる	掘る	K
ほそい	細い』小さい	S
ほぞう	取り付くらう(重宝記	I
ほぞう	繕う	I
ほた	つんぼ	E
ほたえる	うろたえる	Y
ほたえる	あわてる	N
ほたらがす	放っておく	S
ほたりもーけ	余分に儲けた金	T
ほたれご	私生児	S
ほだあおほえん	思慮せず	N

八行

方言	注釈	出典
ほだつのがたたん	年をとって足腰が不自由	B
ほっぼうする	横取りする	C
ほっぼをする	横領をする	M
ほところ	懐中、ふところ	C
ほとびる	水にしたしふやける	S
ほび	ぶと	T
ほび・ぶと	ぶと、ぶよ	T
ほぶろをふるぐら	嫁が無断で里にかえる	I
ほほうべた	横びん	Y
ほほびんちゃ	横びん	Y
ほほびんちゃ	頬	E
ほほべた	頬	E
ほぼろ	竹籠、魚かご	YT
ほぼろ	娘の家出	C
ほぼろ	口の小さい竹籠、魚籠	G
ほぼろをうる	嫁が無断で実家に帰る事	B
ほぼろをふる	嫁が無断で婚家を出る	S
ほぼろをふる、一うる	嫁が無断で里帰りする事	T
ほや	電灯の笠	E
ほや	ランプの球	Y
ほらふき	よく嘘をつく人	L
ほらも一け	思いがけぬ収入	B
ほりたご・ほれたご	私生児、ててなし子	T
ほりたも一け	余分に儲けた金	T
ほれたご、ててなしこ	私生児、ててなし子	T
ほろける	落ちる	ATM
ほろける	失敗する	I
ほろせ	湿疹	A
ほんがめ	すっぱん	T
ほんこ	親の言うことをよく聞く子	K
ほんこ	子供のあやし言葉、良い子	C
ほんこ	本勝負	M
ほんこ	かわいい事	L
ほんそ	かわいがる	LO
ほんそ、ほんそーご	愛児	K
ほんそーこ	かわいい子供	L
ほんそう	可愛い児	C
ほんそうこ	大変かわいい子、溺愛の子	MC
ほんそうご	可愛がられている子	S
ほんそうご	可愛がっている子	Y
ほんそうする	大切に事	K
ほんそご、ほんそーご	愛児、愛し子	T
ほんそご・ほんそー	愛児・いとしご	T
ほんなら	それなら	S
ほんに	本当	K
ほんに	本当に	ST
ほんにほんに	本当に	N
ぼーし	紡糸「真綿で作った肩掛け	KS
ぼーず	男の子供	T
ぼーふら	南瓜、カボチャ	T
ぼーふら、ぼーら	かぼちゃ、南瓜	T
ぼいしい	恐ろしい	A
ぼいばい	恐ろしい、強い人	K
ぼいばい	おばけの事<幼児語	L
ぼえー	恐ろしい	T
ぼえー	怖い、怖がる	O
ぼえせー	恐ろしい	TO

八行

方言	注釈	出典
ぼえせい	恐ろしい	M
ぼけ	馬鹿な事、ぼーとしている人	L
ぼけ、ぼけさく	馬鹿	N
ぼけさく	間抜け(下品語)	L
ぼけたれ	ばか	E
ぼけたれ	相手を侮辱した語	Y
ぼけなす	馬鹿な事、ピント外れな人	L
ぼけなす	ぼける事<罵り語	L
ぼし	帽子	YNE
ぼじいてくれ	むしって呉れ	H
ぼたもち	餅米と粳米を混ぜ餡でまぶす	L
ぼたもち	餅にあんをまぶした物	Y
ぼたれ	綿雪	T
ぼっくり、ぶくり	木履の音「足駄	N
ぼっち、へっち	ぼたん	C
ぼて	天秤棒をもって商いする人	L
ぼて	棒手「天秤棒で行商する人	K
ぼぼ	性交	M
ぼろくた	くず、役に立たない	S
ぼろける	落ちる	K
ぼろける	落後する	C
ぼろける	もげて落ちる	S
ぼろさ	ぼろきれ	S
ぼんくら	ばか	E
ぼんぼん	大便の幼児語	A
ぼんぼん	よい家の子<上方から流入	C
ぼっぼーする	懐に入れ横領する	G
ぼんくら	相手を侮辱した語	Y
ぼんぼん	大便	I
ぼんぼん	糞	T
ぼんぼん	子供の大便	Y
ぼんぼん	大便<幼児語)	NC

マ行

方言	注釈	出典
まー、だすまー	ださない	K
まいだり	前垂	Y
まいだり、まいだれ	前掛け	T
まいまい	かたつむり	S
まき	粽チマキ、葉で包んだ蒸菓子	K
まき	柏餅、槇の葉で包んだ蒸し餅	CY
まくれる	転ぶ	TMS
まくれる	ころぶ	EOY
まくれる	転がる	OK
まこと	感心して聞き入る	T
まこと、まっこと	非常に暑い、本当に暑い	L
まことやあ	本当だ	M
ましげ	眉毛	C
ましげ、まひげ	眉	YTE
まぜくる	他人のしている事をまぜる	Y
まぜめし	かやく飯	Y
まぜる	仲間に入れる、一緒になる	L
またーがりました	又上がりましたく参上の挨拶	V
またきちゃんさい	客送りの挨拶、又来て下さい	L
またきちゃんさいの	また来て下さい	B
またきました	ご免下さい	EY
またきましよう	さようなら	EY
またきやした	入店の挨拶、又来ました	L
またきんさい	また来る	Y
またきんさい	客送りの挨拶、目下に使う	L
またさんじました	又来ましたく挨拶語	M
またよう	さようなら	M
まち	祭の事(石見西部地区)	I
まち	マッチ	Y
まちと	も少し	SN
まちやーがれ	待って呉れ	E
まっちゃんさい	まって下さい	C
まっつこと	全然、ほんとに	L
まっと	も少し	C
までよー	又会おう(友達に別れる時)	K
まどう	弁償する	A
まどう	償う	MK
まどう	弁償する	CSB
まどう	勤弁	H
まどろしい	手間取る	S
まどろしい	じれったい	T
まなか	半間	S
まばいい	まばゆいく子音脱落	T
まひげ	眉毛マユゲ	K
まぶ	横穴、間歩	K
まま	ごはん	EY
まめでな	別れの挨拶、元気でな	L
まめな	無事	T
まめな	元気な様	S
まめなかな	元気かな	N
まめなひと	好色エッチな人	L
まめになる	お産をする	T
まめになる	出産祝	L
まるもの	蹴ろくろで作った陶器	K
まるーと	眼病の一種	T
まん	ーがいい」運の事	ST
まん、ふ	運、マンがわるい	T

マ行

方言	注釈	出典
まんがに	稀に、時々、時たま	TB
まんさく	しいら魚名	KS
まんざら	満更」全くでない	C
まんちゃら	瞞着」ごまかし、欺く	M
まんちゃら	出放題、信用のおけない事	S
まんぼー	継母、ままはは	T
まんぼう	継母	C
まんぼうおや	継母、ままはは	T
まんま	食べ物のく幼児語	C
まんまん、まんまんこ	玉蜀黍	T
まんまんきび、	玉蜀黍	TC
まんまんこう	玉蜀黍トウモロコシ	M
まんまんごと	ままごとく子供の遊び	T
まんもーり	四圍四方(江津)	B江津
みがら	身体	CT
みきすず	お神酒徳利	B
みしろ	むしろ	EYN
みすみす	見す見す」見ていながら	CM
みず	針の穴	T
みずあべ	水泳	G
みずにかす	水に浸す	H
みそがくさる	下手な歌を唄う時の言葉	B
みそをつける	恥をかいた	M
みぞれ	綿雪	T
みたて	会葬	T
みてた	なくなった	B
みてみい	見てみる	N
みてる	無くなる(有るものが	K
みてる	減り尽きる	T
みてる	物が無くなる事	M
みてる	無くなる	HI
みてる	無くなる	SAC
みとみな一	不細工、醜い	A
みとみなあ	見られない	N
みとみない	かつこうが悪い	S
みとみない	みつともない	L
みとみない	醜い	T
みともな	見られない、恥ずかしい	N
みないや	何々してーみなさい	H
みふたつ	出産祝	L
みやい	見合い	C
みやすい	やさしい、たやすい	E
みやすい	容易な	A
みやすい	病気が快い	T
みやすい	楽なこと	SM
みやすい	心易い事	K江戸
みやすい	たやすい	LKT
みよーじ	虹	T
みんさい	みなさい、見て下さい	IH
み二つになる	お産をする	T
むぎめしばな	馬酔木アセビ	B
むぐ	果物等の皮をはぐ	Y
むこい	気の毒だ、可哀想だ	L
むごい	ひどい	ES
むごい	悲惨、ーことされました	I
むごい	かわいそうな	TS
むごい	惨い」凄い	N

マ行

方言	注釈	出典
むごい	酷い]惨い]残酷だ	L
むごう	大変、惨たらしい	C
むさい	持ちがよい	T
むしーに	むやみに	S
むしくる	剥がす	K
むしょうに	大変に	N
むしょうに	無性に]無やみに	CH
むしょうに	むやみやたらに	M
むしんをいう	無心を言う、金品の拝借	V
むすび	御飯をにぎって固めた食物	L
むたい	無体]無茶	S
むつく	強いて	T
むつくに	やたらに	M
むつご	蠶の蛹	T
むてんなこと	無点]とんだこと	M
むま	馬の別名(重宝記	I江戸
むらつじ、くみつじ	村の帳簿を集約する処	K
めえわく	迷惑メイワク	C
めえめえ	銘々]各自	S
めえめえする	叱る	N
めおい	だしだしの飲食	T
めぐ	こわす	YCS
めぐ	壊す	ETK
めげもの	壊れたもの	S
めげる	壊れる	TCN
めげる	こわす	S
めしそうけ	竹製の蓋のある容器、夏飯入	K
めそめそ	しくしく泣く様子	L
めっそーもない	とんでもない	L
めなさ、まなし	フルンケル)腫れ物	T
めにあう	悪いことに出会う	0
めのは	わかめ(海草)	EMY
めのは	和布	TC
めぼいと	目のできもの	S
めぼいと	麦粒腫、モノモライ	K
めりんご	めだか	T
めをつぶる	眼を閉じる	Y
めんこ	木製の弁当箱	M
めんこい	かわいい時使う	L
めんたま	目玉	C
めんつー	雌メス	L
めんどーない	面倒な	T
めんどなー	面倒くさい	L
もー	もはや	G
もーもーどき	夕方	B
もーりよーじる	恍惚コウコツとなる	B
もあい	共同、平等に分ける	S
もう	最早	C
もうもうどき	夕方	Y
もく、こつぱ	落ち松葉(燃料)	T
もぐすねる	もみくちやにする	M
もぐる	付ける	N
もげない	あっけない	S
もこさん	お嬢さん	EY
もさぶれる	つきまとう	Y
もそつと	最少し	C
もだれ	軒	C

マ行

方言	注釈	出典
もだれ	軒下	MT
もちーと	もう少し	H
もちーと	もう少し	T
もちと	も少し	NS
もっそー	すし(江津)	B
もと	地面	SK
もとーらん	拉致のあかない事	S
もどる	帰る	YE
もぶりめし	揉飯	T
もぶる	まぶる「粉をもぶる」	C
もぶれつく	まとわりつく、ぬりつける	SA
もぶれる	戯れ付く、くつつく事	M
もぶれる、もぐれる	鈴なり	N
もむない	おいしくない	M
もむない	不味い	T
ももたぶ	股モモ	E
ももたぶら	もも	Y
ももたぶら	股、もも	KCS
ももたぶら	ふともも	M
ももんがー	お化けの一種	L
もりき	神を祭ってある立木	B
もんもん	怪物く幼児語	C

ヤ行

方言	注釈	出典
や、やい、ーや	「ごせや」よこせ	C
やいと	灸、焼処の転	YKC
やいとー	灸	AT
やうち	一家の内、家族	K
やうち	家族全部	S
やおい	柔らかい、軟らかい	TKS
やきはた	山や野を焼いて農地にする事	L
やくたあもなあ	役にも立たぬ	M
やけな一	不爛な	TB
やけなそうに	可哀想に	M
やけぱり	火傷	T
やし	露天商、如何わしい物売り	K
やしやく	夜食	Y
やすも一な一	休まして下さい	E
やせぎ一す	やせ過	A
やせこけて	痩せこける、痩せ衰える	C
やぜ	家の隅	S
やぜ	辺鄙ヘンピ	T
やぜ	片隅	B
やたきに	無性に	M
やだ、いやんだ	いやだ(ん)挿入 唐鐘)	T
やったんさい	やって下さい」して下さい	S
やっちゃる、やったる	始末してやる	N
やっちゃんさい	して下さい	H
やっぱし、やつほり	矢張り	N
やっぱり	失っ張り』	C
やど	自分の家	T
やね	やに	E
やねこい	しつこい	K
やねこい	苦しい	LG
やねこい	難しい事	K
やまこも、やまこ	大麥に	N
やまし	山林で木を切る仕事する人	L
やましび	やまかがし	T
やみくも	無理に、闇雲』	C
やみくもに	無理矢理に	Y
やむこもに	むやみに	T
やめんさい	人の動作を止めさせる	Y
やや、ややこ	赤ん坊	K
やや一	赤子	T
ややこ	赤児	I
やるせなあ	気の毒な事	AS
やれのー	際疾キワドイいときの感嘆詞	S
やれん	難しい	H
やれん	たまらぬ、堪えぬ	T
やれんでよう一	たまらない	N
やれんな	困ったな	A
やれんのー	困った時、出来そうに無い	S
やる一、やお一い	あげましょう	E
やん、何々やん	何々さん	C
やんがて	やがて」その内	S
やんさい	下さい	SME
やんさい	下さい	CN
やんさい	下さい	YAT
やんさい「きて一	下さい、来て下さい	I
やんちゃ	無茶	N
やんちゃ	子供の駄々	T

ヤ行

方言	注釈	誌
やんちゃ	無理な事をいう	C
やんちゃ	駄々をこねる	K
やんちゃ一	我が俣な子	B
やんちゃい	下さい	T
やんつ一	海辺のならず者	K
やんない	下さい	T
やんなっせ一	やりなさい	B
やんのう	やれのう(急迫した驚き	V
やんま一	山藪	G
やんめ	眼の流行性カタル	T
やんやのー	驚いた時の言葉	B
ゆ一な	暇だ	BHS
ゆ一なべ	夜業	T
ゆ一に	ゆっくり一歩く	L
ゆ一びんさん	あめんぼの事	L
ゆ一や	昨夜	TS
ゆ一れい	おぼけの事	L
ゆう一な	暇な	K
ゆうかす	教える	K
ゆうすけ	気長い者	C
ゆうて	湯手拭ご	Y
ゆうてみい	言ってみなさい	K
ゆうな	のろい	M
ゆうな	閑な、ヒマナ	A
ゆうびんさん	あめんぼう	K
ゆうべ、ゆうや	昨晚	K
ゆお	魚	C
ゆすぐ	濯ぐ、ゆり動かし洗う事	T
ゆすぶ	結ぶ	T
ゆたん	大きな風呂敷	B
ゆて	湯手』湯手拭	CT
ゆんべ	タベ』昨夜	S
ゆんべ	昨夜	TM
ゆんべ	昨夜	CNY
よ一、よ一に	よく見よ	T
よ一いちや一な一	容易でない』難しい	B
よ一おに	まったく、すっかり	S
よ一きちゃんさつて	ようこそいらっしやいました	B
よ一きんさつた	迎の挨拶、よく来られました	L
よ一きんさつた	よく来て下さつた	H
よ一ずく	鼻、フクロウ	T
よ一な、一一のよ一な	ねばならぬ	T
よ一な一、よ一ない	よくない	T
よ一なべ	夜業』夜仕事	SBT
よ一に	すっかり	T
よ一に	全然、全て	LK
よ一に、石のよ一に	様に、石の様に	T
よ一ば	便所	T
よ一べ	昨夜	T
よ一よまん	読み得ない	T
よ一りつと	静かに	B
よ一りつと	そ一と、ゆっくりと	AH
よ一りつとかかえて	ゆっくりと抱えて	H
よいたんぼう	酔いどれ	C
よいたんぼう	酒に酔っ払つた者	M
ようきんさつた	よくおい出になりました	M
ようたあもなあ	用事もない』役に立たない	M

ヤ行

方言	注釈	出典
ようなべ	夜業	YC
よがなよしゆうらく	終夜	Y
よがむ	歪イガむ、ゆがむ	TNC
よきやなあ	沢山にあるとき使う	C
よくすっぽ	欲張り	TS
よけー	余るほど多い事	S
よこざ	爐の上席(下り向き)	T
よこざだいこく	大黒柱	B
よこびんちゃ	横びん	Y
よこや	神社にいて神事を司る人	L
よこや	神官の屋敷、神主の家	YEC
よこや	神職、神主	SK
よこをいうな	横車をおすな	S
よごろ	祭の前夜、宵祭	TB
よざる	夜ふかし	S
よざるひき	夜ふかしする者	T
よざるをひく	夜遅く迄	M
よづく	ふくろう/夜歩きまわる者	ST
よせてくれ	仲間に入れて呉れ	H
よせる	入れる、仲間に加える	S
よっきやーなー	非常に多く	T
よっきやーなー	沢山	AO
よっきやーなあー	沢山	H
よっきやーない	よいつかれぬ	G
よっきやあなあー	乱雑な様、沢山にある	N
よっきやなー	沢山な	S
よっきやなあ	寄り付けない、取り散らし	C
よっきやなあ	沢山	M
よっきやーなー	非常に沢山な	B
よっちゃんされんかな	寄って下されんか	H
よっびて	終夜	T
よっびて	一晩中、夜通し	SC
よっびてー	夜通し	Y
よっぼーたたく	夜更けまで残業する	BL
よっぼて	終夜	B
よっぼてー	夜通し]終夜	T
よっぼど	余程	T
よっびて	夜どうし	E
よどーし	夜通し]終夜	T
よどのよ	祭の前日	T
よな	胞衣	C
よながじゆうーらく	一晩じゆう	S
よばれる	招待を受ける、御馳走になる	S
よぼう	液が器につたう事	S
よぼし、えぼし	とさか、鶏冠	T
よまりやーせん	読み得ない	T
よみない	読みなさい	T
よみんさい	読みなさい	T
よめいり	婚礼	L
よめじょう	お嫁さん	Y
よめんじよ	嫁嬢]嫁	S
よめんじよー	お嫁さん	T
よめんじょう	嫁	NEC
よめんじょう	お嫁さん	Y
よりや、ねこよりや	よりは、猫よりは	T
らー	間もなく	B
らあがある	間がある	M

ラ行

方言	注釈	出典
らくちゆう	京都で無く、地の部落中の事	K
らちこち	扱致ラチ	S
らちやーあかん	どうにも成らない、埒の否	HK
らっしゃーなー	乱暴で始末の付かない様	S
らんきよう	らっきよう	M
らんぼー	蘭法]火薬、発破	S
りうかく	凡帳面、厳格	B
りゆうーかく	凡帳面	S
りゆうーきゆうーいも	甘藷	T
りゆうかく	厳格	C
りゆうかく	難しい	A
りゆうかくな	かたぐるしい、キチンとする	M
りゆうかくもの	律儀者	C
りゆうきゆういも	さつまいも	E
りよーし	鳥や獣をとる仕事をする人	L
れえこん	蓮根	N
れんぎ	搗り粉木、すりこぎ	TY
れんげぼー	搗りこぎの木	K
ろーこ	銅壺<子音転換	T
ろーそくをとぼす	初着を身につける(江津)	B
ろうじきなあ	沢山	M
ろく	平地	A
ろくすっぽ	ろくに	M
ろくすっぽー	碌に、満足に	T
ろくなこと	碌]陸な]大した事でない	S
ろくにしんさい	楽にしなさい	M
ろくにする	安坐する	T
ろくにする	平らにする、楽にする	S
ろしない	どうしようもない	K
ろっかつ	六月	T
ろれつがまわらぬ	呂律ロレツ]舌回りが悪い	M

ワ行

方言	注釈	出典
わーて、……わて	づつ、5銭づつ	T
わいしゃつ	カッターシャツ	K
わきざまし	爛カン冷まし	B
わきやーなー	訳は無い」たやすい	S
わぐすなる	崩れ座る	N
わぐすなる	ちぢかまる	M
わけ	食べ残し、喰い残し	TY
わざくら	わざわざ	ML
わざに	わざわざ	KL
わざに	特別に	S
わざに	わざと、故意に	L
わし	僕」我、自分	IN
わし	妾」わらわ、私く女性語も	K
わし	僕、私、自分	EY
わしゃ	自分の事(重宝記)	I
わしゃー	私はく助詞との連絡	T
わしゃーのー	私はですね	I
わじく	開く	H
わたかいにいった	死亡した	B江津
わて	宛	C
わて	わたし、自分	Y
わに	足先の左右に強く開く事(女)	T
わば	炉の主婦座	T
わば	家の台所方面	T
わめく	叱る	L
わや	乱雑	G
わや、わやくちゃ	めちやくちゃ	L
わやく	乱暴、子供がワヤク	K
わやくそ、わやくちゃ	無茶くちゃ	S
わらずし	堆墓	T
わらんじ	草鞋ワラジ	ECS
わらんじ	草鞋、わらじ	Y
わりー	悪いく母音	TK
わりい	申し訳ない	A
わりき	割り木」薪	CS
わりやー	お前、吾れ	S
わるーすりやー	悪くすれば」事に寄ったら	B
わるさ	悪さ」いたずら、悪戯	KTL
われ	君	EY
わろー	笑う	T
わんだー	そうだ	K
んこーに、食わんこーに	食わずに	T
んさる	なさる	C
んにやー	そうではありません	K

出典

- [N] (長浜) 「長浜青年団と郷土の記録」方言珍言集
 [C] 林 勘次郎 「濱田地方 方言訛語録」
 [S] 山藤 忠 「浜田市誌」
 [M] 森 脇 「弥栄村誌」方言
 [B] 益子原米市 「石見方言番附」
 [E] 周布小学校 「周布村郷土誌」郷土の方言
 [H] 浜田方言保存会 「浜田方言集」「観光課パンフ」
 [I] 浜田市文化財愛護会の例会より
 [V] 藪 田 「浜田市誌」
 [O] 島根県学務課 「二十種方言島根県郡別統計」那賀
 [T] 島根県女子師範学校編 「島根県に於ける方言の分布」
 [G] 郷語改善会 「島根県下訛音方言一覧」今福項等
 [K] 神山 典之 採取の方言
 [Y] 山根 哲夫 「ひのあし」日脚の方言
 [A] 石見地方方言見立番附 平成十三年発行
 [L] 東北大 「消滅する方言語彙の緊急調査研究」の報告

本一覧表は神山典之氏が編集された『石見那賀郡 浜田地方の方言集』をベースに神山氏のご協力をいただいて作成したものである。

作成日：平成22年11月19日